

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

目 次

◎ 会務報告	1
◎ 総括	2
1. 市民啓発事業	
(1) 社協だより「かけはし」の発行	3
(2) 四日市市社会福祉大会の開催	4
(3) ホームページの更新	4
2. 福祉ボランティアのまちづくり事業	
(1) 相談援助業務	5
① ボランティアコーディネート業務	
(2) 情報収集と提供	5
① ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行	
② ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成	
③ ホームページの更新	
④ フェイスブックの更新	
(3) ボランティアのきっかけづくり事業	5
① はじめてのボランティア説明会の開催	
② サマーチャレンジ2014の開催	
③ 福祉教育推進事業・福祉教育への支援	
④ 教職員福祉教育講座の開催	
(4) 人材育成事業	7
① ボランティアリーダー研修会の開催	
(5) 活動支援（助成）事業	7
① 外出援助サービス保険料助成事業の実施	
② ボランティア活動保険の加入促進	
③ 全国ボランティアフェスティバルぎふの参加支援	
(6) 協働事業	8
① 四日市ボランティアキャンペーンの開催	
② ボランティアのつどいの開催	
③ 学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業	
④ コーディネートを考える会議の開催（ボランティアセンター運営に関する会議）	
(7) 防災・災害支援事業	11
① 東日本大震災等被災地支援団体情報交換会	
② 災害ボランティアセンター推進協力員研修会	
3. ふれあいのまちづくり事業	
(1) 地区社会福祉協議会支援	12
① 地区社協への運営費等の助成	
② 地区社協指導者研修会等の実施	
③ 福祉協力員等活動費補助事業の実施	
④ 地域福祉活動メニュー事業の実施	

(2) 地域福祉活動支援	17
①福祉コミュニティの推進	
②先駆的事業の開発	
・四日市市地域後見サポート事業の実施	
・なるほど出前講座の開催	
(3) 四日市市福祉教育大学	18
①四社協福祉ゼミナールの開催	
②地域福祉ゼミナールの開催	
③専門ゼミナールの開催	
④公開講座の開催	
(4) 福祉総合相談事業	19

4. 福祉事業

(1) 介護保険関連事業	20
①居宅介護サービス事業（介護予防事業含む）の実施	
・訪問介護事業の実施	
②居宅介護支援事業の実施	
③介護保険認定調査業務の実施	
④通所介護事業「ゆりかもめ」（介護予防事業含む）の実施	
(2) 在宅福祉事業	22
①地域福祉権利擁護事業の実施	
(3) 障害者自立支援事業	23
①居宅介護事業の実施	
(4) 福祉施設等管理運営事業	24
①中地域包括支援センター	
②くす在宅介護支援センター	
③中央老人福祉センター	
④障害者自立支援施設「共栄作業所」	
⑤障害者自立支援施設「たんぼぼ」	
⑥障害者自立支援施設「あさけワークス」	
⑦障害者福祉センター	
⑧障害者自立生活支援センター「かがやき」	
⑨視覚障害者福祉センター	
⑩障害者就業・生活支援センター「プラウ」	
⑪障害者就労支援事業ワークセンター	
⑫よっかいち福祉の店	
⑬おもちゃ図書館	
⑭母子福祉センター	

5. その他の事業

(1) 福祉サービス相談窓口の開設	35
(2) 職員の安全衛生	35
(3) 第一次事業継続計画（BCP）の策定	36
(4) 職員研修の実施	36
(5) 資金貸付事業の実施	36
①生活福祉資金貸付事業の実施	
②資金貸付事業の実施	
(6) 実習生等の受け入れ	37

(7) 財政基盤の安定化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

- ①社会福祉協議会会員会費
- ②善意の基金
- ③収益事業の実施
 - ・「喫茶ふれあい」の経営
 - ・「総合会館売店」の受託運営
- ④共同募金運動（三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業）の推進
- ⑤寄付金等
- ⑥資産運用

【会務報告】

理事会の開催

- ・第1回 平成26年5月29日(木) 午後2時～3時30分 市総合会館8階第4会議室
議案 1. 理事、評議員の一部変更について
2. 平成25年度事業報告及び収支決算報告について
3. 平成25年度監査結果報告について
4. 福祉サービス相談窓口第三者委員の選任について
5. 各種規程の一部改正について

- ・第2回 平成26年8月25日(月) 午後2時30分～3時30分 四日市市商工会議所3階中会議室
議案 1. 評議員の一部変更について
2. 四日市市社会福祉大会における社会福祉功労者の表彰について
3. 職員衛生管理規程の一部改正について

- ・第3回 平成26年10月24日(金) 午後2時～2時30分 市総合会館2階ボランティア活動室
議案 1. 四日市市社会福祉大会における社会福祉功労者の表彰について(被表彰者の追加)

- ・第4回 平成26年11月25日(火) 午後2時～3時30分 市総合会館8階第4会議室
議案 1. 社会福祉法人四日市市社会福祉協議会給与規程の一部改正について

- ・第5回 平成27年3月25日(水) 午後2時～3時30分 市総合会館8階第3・4会議室
議案 1. 理事及び評議員の一部変更について
2. 平成26年度収支補正予算について
3. 平成27年度事業計画及び収支予算について
4. 定款及び各種規程等の一部改正について

評議員会の開催

- ・第1回 平成26年5月30日(金) 午後2時～3時30分 市総合会館8階第4会議室
議案 1. 理事、評議員の一部変更について
2. 平成25年度事業報告及び収支決算報告について
3. 平成25年度監査結果報告について

- ・第2回 平成27年3月26日(木) 午後2時～3時30分 市総合会館8階第3・4会議室
議案 1. 理事及び評議員の一部変更について
2. 平成26年度収支補正予算について
3. 平成27年度事業計画及び収支予算について
4. 定款の一部改正について
5. 任期満了に伴う理事、監事の一斉改選について

監査の実施

平成26年5月21日(水) 午後2時～4時 市総合会館3階 社会適応訓練室
平成25年度事業報告及び一般会計、特別会計の監査

社会福祉協議会役員視察研修の実施

平成26年10月14日(火) 午前10時30分～午後12時30分 視察先：大津市社会福祉協議会
参加者：社会福祉協議会理事7名
視察内容：生活困窮者支援活動について、相談業務を主たる業務とされている経緯について等

平成26年度事業報告 総括

少子高齢化進展、地域社会のつながりや家族構成、生活様式の変化など、わが国における社会構造の変遷や、長引く経済の低成長などにより、公的な制度では、対応できない生活支援ニーズや孤立、生活困窮を背景とした複雑多岐にわたる生活課題が広がっている。今、社会福祉の分野は大きな転換期を迎え、地域福祉の推進役である社会福祉協議会の使命と役割はますます増大している。

このような状況を受けて、四日市市社会福祉協議会は、「安心して暮らしてつづけることができる福祉のまちづくり」の基本理念のもと、「第4次地域福祉活動計画」に基づき、各種福祉事業を行った。

特徴的な取り組み

○法人運営関連事業

・組織改編

より充実した本市の地域福祉を推進するため、また、より市民に寄り添った福祉サービスを提供するため、これまでの2課（総務課、業務課）から3課（総務課、地域福祉課、福祉支援課）2室（高齢福祉支援室、障害福祉支援室）とした。

・第1次事業継続計画（BCP）の策定

四日市市社会福祉協議会では、通常業務が困難となるような大規模地震および、風水害が発生した際に、重要業務や福祉サービスをなるべく中断させない、または可能な限り早急に再開するように、事業継続計画（BCP）を策定した。

○地域福祉関連事業

・ふれあいのまちづくり事業

小地域福祉活動の推進を図るため、地区社会福祉協議会連絡協議会事業の研修会・ブロック会議を拡充し、ふれあいいきいきサロンの活動を種目別に整理し、認定を実施した。

・地域後見サポート事業

成年後見制度や権利擁護事業に関わる相談だけではなく、先駆的事業の開発として制度の狭間で支援の行き届かないケース等に対する相談窓口を設置し、さまざまな関係機関と協働で新たなセーフティーネットづくりを実施した。

・ボランティアセンター事業

高校生、大学生、専門学校生を対象に、夏休み期間中に参加できるボランティア体験プログラムを実施した。

ボランティアセンターのコーディネートの充実を図るために、コーディネートに関わる関係機関との情報交換・情報共有を実施した。

・地域福祉権利擁護事業

三重県社会福祉協議会の委託を受けて三泗地域（本市、朝日町、川越町）の基幹的社協として、地域福祉権利擁護事業を実施した。福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。

専門員4人体制での年度末利用者数は313件で、前年度比51件増となっている。新規は前年度に引き続き100件を超え102件、相談件数は4,637件であり、本事業の住民ニーズの高さが伺えた。

○高齢者福祉関連事業

高齢福祉支援室設置に伴い、訪問介護事業所・居宅介護支援事業所・介護保険認定調査室・楠在宅介護サービスセンターゆりかもめ・中地域包括支援センターの連携強化に努め、平成27年4月の介護保険法改正による地域包括ケアシステム構築のために医療・介護ネットワーク会議の開催、地域ケア会議の地域への説明会の実施、介護保険認定調査の適正実施、各種介護保険サービスの充実による介護事業の強化に取り組んだ。

○障害者福祉関連事業

障害者福祉関連4施設(障害者福祉センター・共栄作業所・たんぼぼ・あさけワークス)は、26年度から30年度までの5年間を指定管理者として、引き続き管理・運営し、サービス向上と経費削減に努め、事業に取り組んだ。

障害者自立支援センターかがやきは、計画相談支援の完全実施に向けて相談支援専門員を増員し、特定相談支援事業へ重点的に取り組んだ。

平成26年度事業報告の詳細は、以下のとおりである。

1. 市民啓発事業

市社協の事業の紹介や、市民にとって必要な福祉情報等をわかりやすく提供するため、広報紙を発行するとともに、社会福祉大会を開催し、市民の福祉意識の向上に努めた。また、ホームページを随時更新し、タイムリーな情報提供に努めた。

(1) 社協だより「かけはし」の発行

市社協事業の紹介及び報告、福祉情報の提供など市社協活動や福祉理解の促進、福祉啓発を目的として発行した。発行回数は年6回(臨時号を含む)、各号約136,000部を市内全戸に配布した。同時に、希望される視覚障害者に、点訳かけはし(1回18部)、録音かけはし(1回26本)を発行した。

発行日	内 容
4月5日 臨時号	[表紙:四日市ボランティアキャンペーンの報告] ・市社協 組織改編についてのお知らせ(2課→3課2室) ・市社協マップ
6月20日 第126号	[表紙:おもちゃ図書館まつりの案内] ・平成26年度予算、及び平成25年度決算の報告 ・会費のお礼と依頼 ・障害者福祉センターだよりWITH(視覚障害者福祉センターのご案内) ・母子福祉センターからのお知らせ(和裁サークル会員募集) ・たんぼぼへの寄贈のお礼 ・寄付のお礼
8月20日 第127号	[表紙:26年度四日市市社会福祉大会の案内] ・母子福祉センター・母子寡婦福祉会作品展のお知らせ ・赤い羽根共同募金 平成25年度の実績、お礼と報告 ・平成27年度採用正規職員募集 ・ボランティアセンターからのお知らせ(Facebook、はじめてのボランティアの説明会) ・たんぼぼ&四郷グループホーム 音楽コラボ ・中央老人福祉センターからのお知らせ ・障害者福祉センターだよりWITH(失語症会話パートナー) ・「福祉・介護の就職フェア」開催について ・寄付のお礼
10月20日 第128号	[表紙:平成26年度 赤い羽根共同募金のお願い] ・四日市市社会福祉大会の案内 ・ボランティアセンターからのお知らせ(ボランティアのつどい、はじめてのボランティア説明会) ・あさけワークスの紹介 地域と共に ・障害者福祉センターだよりWITH(第33回四日市市障害者大会の案内)

	<ul style="list-style-type: none"> ・市老人クラブ連合会からのお知らせ ・寄付のお礼
12月20日 第129号	<p>[表紙：平成26年度 四日市市社会福祉大会開催の報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金、街頭募金の報告とお願い ・母子福祉センター和裁サークルからのお知らせ ・「さをり作品展きょうえい」開催のお知らせ ・ボランティアセンターからのお知らせ（はじめてのボランティア説明会、ボランティアキャンペーン） ・障害者福祉センターだよりWITH（出前講座について） ・プラウの紹介 ・寄付のお礼
2月20日 第130号	<p>[表紙：赤い羽根共同募金運動のお礼、歳末たすけあい見舞金贈呈式]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たんぼぼ 餅つき大会の報告 ・よっかいち福祉の店 即売会のお礼 ・四日市ボランティアキャンペーンのお知らせ ・障害者福祉センターだよりWITH（障害者デイサービス利用者募集、各種訓練、教室のお知らせ） ・あさけワークス アルミ缶収集のお知らせ ・寄付のお礼

(2) 四日市市社会福祉大会の開催

永年にわたり、社会福祉活動に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、講演をとおして広く市民に福祉について考える場を提供し、福祉意識の高揚を図った。

- ・日 時 平成26年11月10日（月） 午後1時30分～4時00分
- ・場 所 四日市市文化会館 第1ホール
- ・参加者 約700名
- ・福祉功労者表彰 41名13団体
 - ・四日市市長表彰 2名・2団体
 - ・四日市市長感謝 1名
 - ・四日市市長特別 3団体
 - ・四日市市社会福祉協議会会長表彰 20名・4団体
 - ・四日市市社会福祉協議会会長感謝 18名
 - ・三重県共同募金会四日市市共同募金委員会会長表彰 4団体
- ・講 演 ～人のつながり、ふるさとしてすばらしい～
- ・講 師 ダニエル・カール（タレント）

(3) ホームページの更新

市社協の組織や事業とともに、職員募集情報や各種講座案内等をよりタイムリーに提供できるよう努めた。アクセス件数は178,081件で、前年度と比べ7,525件増加し、市民等の福祉に関する関心の高さが伺えた。

【市民啓発事業 まとめ】

社協だより「かけはし」は、フルカラーで作成し、市民にとってより読みやすいものとした。記事を見て、社会福祉大会や、ボランティアの説明会に参加したなど、市民の福祉啓発や市社協のPRに成果がみられた。

「四日市市社会福祉大会」では日々の福祉活動に尽力している人のことを知ることができよかった、自分もいろいろな活動に参加してみようと思った、講演では、とても楽しい話で元気をもらった、日本の良さを再認識することができた、地域のつながりが大事だと感じた、などの声をいただいた。

福祉を取り巻くさまざまな環境の変化に伴い、家族構成や生活様式など市民の暮らしも大きく変化してきていることから、福祉課題もより身近なものとなり、市民の社会福祉に対する関心も高まって

きている。今後も引き続き、市民にとって必要な福祉の情報をわかりやすく提供し、福祉啓発に努めていく。

2. 福祉ボランティアのまちづくり事業

ボランティアセンターでは、市民相互の助け合いによる福祉のまちづくりを目的として、市民がボランティア活動に参加するために必要な啓発活動、学習や活動の場、各種ボランティアに関する最新情報を提供するとともに、ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援などに取り組んだ。

(1) 相談援助業務

① ボランティアコーディネート業務

ボランティアを必要としている人とボランティア活動を希望している人や活動中の人を実際の活動につなげることを目的に行った。

コーディネート実績		
依頼件数		187件
派遣件数		166件
派遣人数		363名
派遣団体数		34団体
派遣中止	主催者理由	8件
	ボランティア活動者理由	5件
	希望者なし	8件

(2) 情報収集と提供

① ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行（月1回）

ボランティアに関する事業や情報を掲載し、毎月20日に発行した（発行部数約1,500部）。ボランティア団体や個人ボランティア、行政、一部企業等の各関係機関への送付や地域の掲示板への貼付などにより、ボランティア活動の周知に努めた。

② ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成

ボランティアセンターに登録している団体のうち、会員募集をしている団体を活動分野別に冊子としてまとめ、ボランティア希望者へ情報提供を行った。

③ ホームページの更新

ホームページ上に、ボランティアセンター事業やボランティア募集などボランティアに関する情報を掲載し、ボランティア活動の周知に努めた。

④ フェイスブックの更新

若い世代を中心に普及しているフェイスブックの拡散性、即時性、滞留性の機能を活かしてボランティアセンターが開催する各種イベント事業の様子をはじめ、企画の段階から関わってもらったボランティアのみなさんの様子、各ボランティア団体の活動の様子などを発信し、ボランティア活動やボランティアセンターをより身近なものに感じてもらえるように努めた。

(3) ボランティアのきっかけづくり事業

① はじめてのボランティア説明会の開催

これからボランティア活動を始めたいという人を対象に、ボランティア活動に関する基礎知識の習得と実際の活動へのつながりを目的に開催した。開催日時は、より多くの人に参加してもらえるように、毎月3回、平日午前、平日夜間、休日午後とした。

学校関係では、ユマニテク医療福祉大学校(7月：29名)・第一高等学院高校(5月：13名)の2校から依頼があり、出前講座を実施した。

月	開催日				参加者数	説明会内容
4月	8日	17日	21日	26日	11名	<全体説明>

5月	7日 20日 24日	21名	①社協&ボランティアセンターの概要説明 ②ボランティアについての学習 ③市内ボランティア活動状況 ④ボランティア活動保険の説明 ⑤ボランティア募集状況 他 <個人対応> ①1対1で活動希望の聞き取り ②活動先との調整 ③見学への同行 ④活動中のフォロー
6月	3日 4日 12日 19日 21日	10名	
7月	3日 19日 25日 29日	35名	
8月	4日 5日 21日	7名	
9月	2日 20日	9名	
10月	7日 18日 23日 25日 26日	12名	
11月	4日 13日 29日	9名	
12月	2日 11日	2名	
1月	6日 15日 24日	10名	
2月	3日 12日 21日	6名	
3月	5日 21日	13名	
年間	39日 (内、出前講座2日含む)	145名	

②サマーチャレンジ2014の開催

高校生・大学生・専門学校生を対象に、夏休み期間を利用してボランティア活動をしてもらうことで、ボランティア活動の魅力を伝えるとともにボランティア活動者の育成を図ることを目的に開催した。

開催日	活動内容	受け入れ施設	参加者数
7月31日(木) 8月4日(月)	事前説明会 ・ボランティア活動とは？ ・ボランティア活動保険・登録の説明 ・活動先の担当者からの説明 ・振り返りシートの記入	・障害者福祉センター ・四日市ユートピアハウス ・在宅一人暮らしの車いす利用者	12名
8月5日(火) ～8日(金)	お話し相手、レクリエーション支援など	四日市ユートピアハウス	4名
8月20日(水) ～22日(金) 8月27日(水) ～29日(金)	児童デイサービス ・創作活動、調理、野外活動など	障害者福祉センター	9名
8月30日(土)	事後報告会 ・振り返りシートの記入、感想		2名

③福祉教育推進事業・福祉教育への支援

(ア) 地域福祉教育推進（講師派遣）事業 [14校 20講座]

子どもたちが地域の中で生活全般にかかわる「福祉」について学び、自分にできることを考えるきっかけづくりとなる福祉教育を推進するため、日常的に子どもたちと関わり、福祉教育を実践されている学校と協議をしながら、子どもたちにあった学習プログラムを作成した。

講師の紹介や調整、依頼やその経費については市社協が担う事業として実施した。

学校名	派遣した講師
羽津北小学校	市内視覚障害者
下野小学校	社会福祉協議会職員(障害者スポーツについて)
下野小学校	市内視覚障害者
橋北小学校	視覚障害者(サウンドテーブルテニスサークル)
県小学校	市内聴覚障害者
三重北小学校	市内視覚障害者
大谷台小学校	市内視覚障害者
日永小学校	市内視覚障害者
八郷小学校	市内視覚障害者
八郷小学校	地区在住身体障害者(車椅子利用者)
富洲原小学校	市内視覚障害者
桜中学校	社会福祉協議会職員(障害者スポーツについて)

桜中学校	社会福祉協議会職員(共同募金・ボランティアについて)
三滝中学校	身体障害者(車椅子利用者)
山手中学校	社会福祉協議会職員(障害者理解について)
山手中学校	社会福祉協議会職員(共同募金・ボランティアについて)
富洲原中学校	視覚障害者(サウンドテーブルテニスサークル)
刈ノール高校	社会福祉協議会職員(ボランティア・障害者理解について)
刈ノール高校	視覚障害者(サウンドテーブルテニスサークル)
刈ノール高校	市内視覚障害者

(イ) 福祉教育への支援 [15校]

地域福祉教育推進事業実施校以外の小学校・中学校・高等学校で、福祉教育に取り組んでいる学校の相談に応じ、取り組み内容についての情報提供や福祉用具の貸出及び講師の紹介、職員派遣を行った。

④教職員福祉教育講座等の開催

今まで福祉教育推進事業などをご利用いただいた教職員や派遣した講師にご参加いただき今後の四日市市における福祉教育の推進方法の意見交換を実施した。また各学校の福祉教育担当者にプログラム提案や情報提供の機会を行った。

(ア) 夏季教職員福祉情報交換会

小中学校の教職員を対象に、市教育支援課教職員研修講座の共催講座として開催。

開催日	開催場所	開催内容	参加数
8月9日(金)	四日市市総合会館	講演「福祉教育にかかわって意見交換会・・・」	11名

(イ) 教職員向け福祉情報紙の発行

小学校4年生の教諭向けに、教科書(国語の単元)を題材にしながら福祉学習をするプログラムを紹介することを目的に、情報紙を作成し、担当教諭に配布した。

(4) 人材育成事業

①ボランティアリーダー研修会の開催

ボランティア活動が多様化している状況下、ボランティア団体のリーダーを対象に、リーダーの資質向上及び各団体間のつながりを図ることを目的に開催した。

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
1月31日(土)	四日市市文化会館第3ホール	(テーマ)『気付いていないことに気付くチャンス！～広がるボランティアの可能性は無限大～』 (講師)天台眞盛宗 蓮光寺 住職 松尾 弘 氏 中部学院大学短期大学部社会福祉学科 准教授 大井 智香子 氏 (内容)①福祉法話「ボランティアのこころ」 ②グループワーク 「夢のコラボ大作戦！」 (その他)四日市ボランティアキャンペーンの開催案内について	40団体 76名

(5) 活動支援(助成)事業

①外出援助サービス保険料助成事業の実施

外出困難な要援護者のニーズ対応と外出機会の拡大を目的として、医療機関などへの外出援助サービスを行っているボランティア団体等に対して、送迎サービス補償・ボランティア活動保険の各保険料の半額助成を行った。

- [助成団体] 1. 桜ボランティア協会 [桜地区]
 2. ミニデイサービス「ともだちの和」 [桜地区]
 3. 山上いきいきサロン [桜地区]
 4. おたまじゃくしの会 [八郷地区]

②ボランティア活動保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備えて、ボランティア活動保険の掛金の一部補助(一律一人100円)を行い、加入促進を図った。

ボランティア活動保険加入者4,969名(平成27年3月31日現在)

③全国ボランティアフェスティバルぎふの参加支援

ボランティア活動への関心が高まっている中、全国規模のボランティア大会への参加を通して団体活動の活性化を図ることを目的として、ボランティア団体・個人ボランティア・地区社会福祉協議会を対象に参加を募り、フェスティバルに参加する費用の一部(交通費・参加登録費)を助成した。

開催日	開催場所	参加者	開催内容	参加者数
9月27日(土) ～28日(日)	(岐阜県) 長良川国際 会議場 他	ボランティア団体 個人ボランティア 地区社協	・記念講演 ・清流トーク・セッション 第1部・第2部 ・分科会	31名

(6) 協働事業

①四日市ボランティアキャンペーンの開催

ボランティア活動の啓発及びボランティア人口「ボラ友」の拡大を目的に、3月4日「**㊦**んなで**㊩**よにボランティア」(キャッチフレーズ)を四日市市のボランティアの日とし、また3月4日～31日までを四日市ボランティアキャンペーン期間として、下記イベントを開催した。
 開催に伴い、企業協賛16社、その他の協賛団体7団体の協力を得た。

■街頭PR活動 in ふれあいモール

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
3月4日(水)	四日市駅前東口広場 ふれあいモール	街頭PR活動 ・ティッシュ、チラシ配り ・ゆるキャラと一緒に写真を撮ろう!	22名

■はじめてのボランティア説明会

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
3月5日(木) 21日(土)	四日市市総合会館	・ボランティアに関する基礎知識 ・ボランティアの心がまえ ・ボランティア募集や活動紹介など	13名

■ボランティア啓発イベント(運営委員会形式で開催)

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
3月14日(土) (展示:14日 ～16日)	四日市 市民公園	・アルミ缶アート テーマ『アルミ缶みんなでつなげる 手(て～)と手(て)』2015』 アルミ缶回収(15,000缶) 寄贈先(障害者施設) ①サポートセンターあいぷろ ②フェアワークス下野 ③みどりの家日永	126名 (ボランティア)

		④わかたけ萩の里 ・参加者へのボラ友あめの配布 ・子どもひろば ①バルーンアート ②アルミ缶つぶし体験 ③オリジナル缶バッチづくり	
--	--	--	--

■ボランティア啓発イベント開催に伴う企画運営委員会&事前説明会の開催
〔運営委員会〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
12月4日(木) 12月26日(金) 1月20日(金) 2月5日(木) 2月23日(月) 3月5日(木)	・ボランティア団体 (4団体) ・学校関係(1校) ・個人ボランティア	①四日市ボランティアキャンペーン 企画内容に関すること ②前日及び当日の運営協力などに関する こと ③事前リハーサルの開催 ④展示後の撤収	80名

〔当日スタッフへの事前説明会〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
2月25日(水) 2月26日(木)	・ボランティア団体 ・個人ボランティア ・学校	・PRイベント(3/4) ・ボランティア啓発イベント(3/14) ・片づけ、寄贈(3/16) における内容説明、役割分担など	40名

■ボランティア体験プログラム

開催	名称	内容	参加者数
3月6日(金) 3月20日(金)	チクチク手仕事 ボランティア	ベテランボランティアさんと一緒に まっぼっくり飾りをつくる。 〔協力団体：やまびこ〕	6名
3月6日(金) 3月20日(金) 3月27日(金)	里山保全 ボランティア	樹木や花壇の手入れなど、朝からしっかり 体を動かして市民が気持ちよく利用できる 公園づくりの支援をする。 〔協力団体：四郷栗の木林をつくる会〕	11名
3月9日(月) 3月23日(月)	ボランティア カレンダー作成 ボランティア	ボランティア団体から活動写真を募集し、 カレンダーづくりを通してボランティア活 動の楽しさを発信する。	10名
3月15日(日)	カフェサロン ボランティア	コーヒーを提供しながら、地域の高齢者が 集う憩いの場をつくる支援をする。 〔協力団体：NPO法人 ニコニコ共和国〕	3名
3月28日(土)	街頭募金 ボランティア	街頭募金を通して、県内のボランティア活 動を応援する。 〔協力団体：三重ボランティア基金〕	7名

②ボランティアのつどいの開催

ボランティアセンター登録団体や個人ボランティアが一堂に会することによって、情報交換や交流を行い、団体同士または、団体や個人とボランティアセンターのつながりを強化することを目的に開催した。(実行委員会形式で開催)

開催日	開催場所	参加者	開催内容	参加者数
11月22日 (土)	四日市市 文化会館 第4ホール	ボランティア団体 個人ボランティア 一般参加	①オープニング ②アイスブレイク ③語り、交流企画「ロゴ提案大会」 ④活動紹介	84名

			ブース出展、インタビュー 形式での活動発表 ⑤クロージング	
--	--	--	-------------------------------------	--

〔実行委員会の開催〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
7月14日(水) 8月22日(金) 9月17日(水) 10月22日(水) 11月12日(水)	・ボランティア団体(3団体) ・学校関係(1校) ・個人ボランティア	①企画内容に関すること ②当日の運営等に関すること	60名

③学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業

現在、つながりのある学校とのさらなる顔みえる関係づくりを目的に、イベントや活動等を通して連携強化に努めた。

学校名	活動内容
四日市大学	①四日市大学・四日市看護医療大学合同文化祭 (よんよん祭り)でのボランティアセンターとの合同出展 <出展内容:展示&思いやりリレー> ②四日市ボランティアキャンペーンの運営委員として運営委員会への参画及び参加 ③サマーチャレンジへの参加
四日市看護医療大学	①四日市大学・四日市看護医療大学合同文化祭 (よんよん祭り)でのボラセンとの合同出展 (出展内容:展示、思いやりリレー) ②四日市ボランティアキャンペーンへの参加
ユマニテク医療福祉大学校	①はじめてのボランティア説明会の出前講座の開催 ②各種ボランティア活動への参加 ③サマーチャレンジへの参加
四日市 United Children (メリノール女子学院生中心)	国際交流パーティの企画と実施に向けての協力および活動支援
川越高校、海星高校、四郷高校、 暁中学校、四日市工業高校、 楠小学校、港中学校	四日市ボランティアキャンペーンへの参加・協力

④コーディネートを考える会議の開催(ボランティアセンター運営に関する会議)

コーディネート業務の向上を図ることや新たなしくみづくりを構築していくことを目的とし、関係機関(ボランティアの送り出し機関、ボランティアの受け入れ機関、中間支援組織、学識経験者など)が集まり、よりよいコーディネートに向けて情報の共有や意見交換を行った。

開催日	参加機関	開催内容	参加者数
6月26日(木)	①サンディスク(株) ②ユマニテク医療福祉大学校 ③よっかいち諧朋苑 ④三重県ボランティアセンター ⑤学識経験者	■各関係機関のボランティアに関する課題の整理 ■ボランティアコーディネートに必要な視点や現在の問題点について議論	9名
9月19日(木)	①サンディスク(株) ②ユマニテク医療福祉大学校 ③よっかいち諧朋苑 ④障害者相談支援センター ソシオ ⑤四日市ふるさとファーム ⑥三重県ボランティアセンター ⑦学識経験者	■個別ニーズに対するボランティアコーディネートについて事例検討	11名

12月18日(木)	①ユマニテク医療福祉大学校 ②作業所 来夢 ③障害者相談支援センター ソシオ ④三重県ボランティアセンター ⑤学識経験者	■これまでの協議内容の振り返り ■コーディネーターの役割について議論	9名
3月19日(木)	①サンディスク(株) ②ユマニテク医療福祉大学校 ③作業所 来夢 ④障害者相談支援センター ソシオ ⑤四日市ふるさとファーム ⑥三重県ボランティアセンター ⑦学識経験者	■次年度の取り組みについての議論	11名

(7) 防災・災害支援事業

①東日本大震災等被災地支援団体情報交換会

東日本大震災(3.11)を機に被災地支援をしている団体が集まる「チーム四日市」の情報交換を目的に開催した。平成23年4月からの計28回の情報交換会等の開催し、団体同士のつながりも強化できたため、情報交換会としては今年度で終了した。

開催日	参加者	開催内容	参加者数
7月11日(土)	災害関係 ボランティア団体 (6団体)	・各団体の活動報告及び今後の活動内容 ・情報交換会の今後の方向性	10名

②災害ボランティアセンター推進協力員研修会

災害時に地域と災害ボランティアセンターの橋渡し役となっていただく「災害ボランティアセンター推進協力員」と、今年度は在宅介護支援センターで福祉従事者向けの講座を開催し災害ボランティアセンターとの連携について考えていただいた。

月日	勉強会の内容	参加人数
3月23日(月)	講義：BCP研修会 講師：浜銀総合研究所 江嶋 哲也 氏	36人

【福祉ボランティアのまちづくり事業 まとめ】

平成27年3月31日現在のボランティアセンター団体登録数は、207団体8,736名、また個人登録数は、217名であった。

登録について、団体数は昨年度と変わらず、活動分野は福祉分野を含め、多岐にわたっている。個人ボランティア数は、はじめてのボランティア説明会参加者数は減少したが、「サマーチャレンジ2014」参加者の登録等により増加した。

ボランティアコーディネート件数は昨年度に比べ減少した。はじめてのボランティア説明会参加者の減少も大きな要因の1つと考えられるが、次年度に向けて検証し見直しを図っていききたい。

事業としては、昨年度より、四日市ボランティアフェスティバルから四日市ボランティアキャンペーンと名称を改め、期間(3月4日～31日)を設けて、ボランティアの啓発とボランティア人口の拡大を図っている。今年度からは、期間中に参加できるボランティア体験プログラムを企画し、ボランティア活動をはじめのきっかけづくりを行った。ボランティア啓発イベントなど、キャンペーン期間を通して185名のボランティアが参加し、その他にも企業、学校、施設、一般市民の方々などたくさんの協力を得られた。また、昨年度の課題であった広報に力を入れ、新聞やCTYに取り上げてもらったが、ボランティアの啓発とボランティア人口の拡大を目指して、さらに広報に力を入れていきたい。

学生については、今年度から高校生、大学生、専門学校生を対象に、夏休み期間中に参加できるボランティア体験プログラム(サマーチャレンジ)を実施した。ボランティアの魅力を伝えるとともに、ボランティア活動者の育成を図った。今後も引き続き、育成に向けてさらに取り組んでいきたい。

また、はじめてのボランティア説明会も開催して6年を経過しており、コンスタントな参加数を維持してきたが最近では減少傾向にあること、また参加していただく方も多様化してきており、個人

の対応の充実が図れるような新たなしくみづくりなど、次年度は考えていきたい。

事業実施の他、ボランティアセンターの重要な業務のひとつであるコーディネートにより充実を図るために、コーディネートに関わる関係機関（ボランティアの送り出し機関、ボランティアの受け入れ機関、中間支援組織、学識経験者など）が集まってコーディネートを考える会議を開催し、ボランティアに関する課題の抽出や情報交換・情報共有を行った。成果として継続した会議の開催によって、各分野のみなさんとの顔の見える関係づくりが構築できたこと、会議で話し合われた内容を日頃のコーディネート業務に反映することができたことであるが、さらなるコーディネート業務の充実を図るため、コーディネーターに必要な視点や役割、いろいろな関係機関のボランティアに関する声や想いを協議・共有する場として、次年度以降も継続して開催していきたい。

3. ふれあいのまちづくり事業

地区社会福祉協議会（地区社協）への具体的な支援として、3ブロック（北部、南部、中部）別の会長会議を開催し、課題を抽出、地区社協の方向性の検討をすすめた。小地域福祉活動を推進していくために、地域福祉活動メニュー事業での地域住民の意識高揚、ボランティアの発掘、福祉協力員との協働などをとおして、住民自らの福祉活動が展開されるよう支援した。

さらに、各地区民生委員児童委員協議会へ参画し、地域の福祉課題の解決に向けた活動を支援した。

総合相談事業では、気軽な市民の福祉相談の窓口として、さらには処遇困難事例等への相談体制も充実していくなど包括的な福祉総合相談の担い手として関係機関との連携を密に取りながら問題解決や福祉ニーズの把握に努めた。

(1) 地区社会福祉協議会支援

地域において、地域福祉活動を推進していく基盤となる地区社協との連携強化に努めた。

①地区社協への運営費等の助成

- (ア) 地区社協組織活動補助金…1地区 40,000円。支部（校区）社協を組織化している地区については1支部（校区）社協につき8,000円を加算。
- (イ) 地区社協事業費補助金…地区の世帯数による
- (ウ) 地域福祉活動メニュー事業補助金…実績方式
- (エ) 共同募金交付金…目標額の21%と超過額の90%

②地区社協指導者研修会等の実施

- (ア) 地区社協連絡協議会 全体会議
平成26年6月30日（月） 総合会館 8階視聴覚室
内容 1. 会長・副会長の選任について
2. 市社協評議員の選出について
3. 指導者研修会の開催について
4. 市社協 補助金について
5. 情報提供・出前講座の案内
 - 「四社協福祉ゼミナール」について
 - 「市社協 出前講座」について
 - 「ボランティア活動保険」について
- (イ) 地区社協リーダー研修会／補助金説明会
平成27年2月18日（水） 総合会館 8階視聴覚室
内容 1. 講演 「今後の高齢者施策について」
講師 四日市市介護高齢福祉課 瀬古 一成 氏
2. 平成27年度補助金について
 - 四日市市介護・高齢福祉課より
 - 四日市市社会福祉協議会より

- ・地区社協補助金について
- ・ふれあいいいききサロン備品購入補助金の変更について

(ウ) 地区社協ブロック別 会長会議

平成26年8月28日(木)：北部、中部 8月29日(木) 南部

- 内容
1. 地区社協ブロックの再編について
 2. ふれあいいいききサロン補助金の変更について
 3. 新規の取り組みについて
 4. 研修会のご案内について
 5. 情報交換

平成27年2月3日(火)：中部 2月4日(水)：北部、南部

- 内容
1. 四日市市社会福祉協議会メニュー事業補助金の変更について
 2. 平成27年度事業について
 3. 地域福祉活動事業について
 4. 意見交換

(エ) 小地域福祉活動ホームページの開設

市社協ホームページに「小地域活動応援サイト」の運営

(オ) 地区社会福祉協議会連絡協議会リーダー研修会の開催

平成26年9月27日(月) 岐阜県長良川国際会議場

内容 全国ボランティアフェスティバルに参加

参加団体：10地区社協

③福祉協力員等活動費補助事業の実施

地域福祉活動の推進者である福祉協力員等の活動のより一層の促進を図るため、運営費 20,000 円、活動費として福祉協力員等 1 名につき年間 3,000 円（上限 80,000 円）を補助し、活動を支援した。

- ・実施地区（14地区）

共同、中央、港、橋北、海蔵、羽津、富田、下野、三重、桜、川島、神前、内部、大矢知

④地域福祉活動メニュー事業の実施

平成8年度から地区社協に対する具体的な支援として「地域福祉活動メニュー事業」を開始した。平成10年度からは、対象を小学校区に組織化されている地区社協に拡大し、平成12年度からは、高齢者などの介護予防や地域での交流・出会い、憩いの場としての「ふれあいいいききサロン」活動を進めていくための運営費や、新規に活動を立ち上げる資金を支援するメニューを加えた。また各地区社協の福祉活動状況や地域特性を踏まえて、それぞれの地域課題を明らかにし、地区社協の取り組みに際し、事業の企画段階から市社協職員が参画して、支援を行ってきた。

(メニュー内容)

- ・学習・啓発事業
- ・交流事業
- ・ふれあいいいききサロン事業

●学習・啓発事業数 12地区（支部を含む） 18メニュー

地区	事業名	内容	人数
共同	視察研修	あいち健康プラザ視察	25
共同	福祉勉強会	演題「児童虐待について」講師を招いての勉強会	25
八郷	高齢者大学	演題「相続と遺言と成年後見制度について」講師を招いての勉強会	34
八郷西	高齢者大学	演題「相続と遺言と成年後見制度について」講師を招いての勉強会	50
下野	福祉講演会	演題「老後健康で長生きするための健康長寿の秘訣」講師を招いての講演会	80

下野	福祉講演会	演題「ここまでできる在宅医療」講師を招いての講演会	70
下野	福祉講演会	演題「クイズで知ろう身体の不思議」講師を招いての講演会	104
桜	史跡めぐり	桜地区内の史跡をめぐる	71
桜	バードウォッチング	身近な自然を観察。	56
桜	健康講座	演題「介護が必要になった時のために知っておきたいこと」講師を招いての講座	80
神前	子育て講座	親子を対象に子育ての講座を開催	15
高花平	健康講演会	演題「痛風のおはなし」講師を招いての講演会	35
常磐	手話講座	講師を招いての手話講座	12
河原田	子ども工作教室	防災ラジオづくり	15
日永	環境講座	うちわでエコマイ日永うちわを作ろう	40
塩浜	健康講座	演題「口腔ケアについて」講師を招いての講演会	29
大谷台	防犯・交通安全講座	講師を招いての交通安全講習会	70
大谷台	健康講座	講師を招いての健康講座	70

●交流事業数 18地区（支部を含む）34メニュー

地区	事業名	内容	人数
共同	ぬくもりの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、体操やバイオリン演奏を楽しむ	86
同和	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、介護講座、リズムメイトによる歌と演奏	40
同和・中央	三世代交流もちつき大会	中央地区、同和地区の共催事業。ゲーム、もちつきなど	220
中央	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、出前講座、リズムメイトによる歌と演奏	54
港	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、港笑劇団による寸劇、茶話会	68
浜田	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、落語、オカリナ演奏	68
海蔵	小学生と七夕交流会	海蔵小学生と高齢者の交流事業。七夕の飾りつけなどをおこなう	155
羽津	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、諏訪太鼓演奏やリズムメイトによる歌と演奏	117
富洲原	グラウンドゴルフ大会	地域住民全体でのグラウンドゴルフ大会	103
	ウォークラリー大会	地域住民全体でのウォークラリー大会	200
	グラウンドゴルフ大会	地域住民全体でのグラウンドゴルフ大会	81
県	ふれあい文化祭	地域住民全体事業。講演会、大道芸、作品展示、サークル発表等	600
	綱引き選手権大会	地域住民全体事業。綱引き後ぜんざいで交流。	250
桜	リフレッシュ健康体操	高齢者の転倒予防、介護予防や認知機能向上のためのエクササイズ	31
	さくらふれあいまつり	福祉施設との交流会。手品、歌。	119
川島	川島町北部第一親睦会	地域住民全体でグラウンドゴルフと昼食会。	85
	親睦もちつき大会	ひとり暮らし高齢者との交流。	90
四郷	共栄作業所との交流会	福祉施設との交流会。	90
高花平	保育園児との交流会①	高花平保育園と高齢者との交流会。	23
	幼稚園児との交流会①	市立高花平幼稚園と高齢者との交流会。	40
	保育園児との交流会②	高花平保育園と高齢者との交流会。	20
	幼稚園児との交流会②	市立高花平幼稚園と高齢者との交流会。	50
	保育園児との交流会③	高花平保育園と高齢者との交流会。	30
	幼稚園児、保育園児、小学1年生と高齢者との合同ふれあい音楽会	幼稚園児、保育園児、小学1年生と高齢者との合同音楽会。	125
常磐	地区在住のろう者との共同作業	健全者と障がい(ろう)者との交流もちつき大会。	10

河原田	障害者ふれあいの集い	民生委員が障害者を明治村へ招待して交流。	16
	和菓子づくり	和菓子づくりをとおして世代間交流。	20
	梅まつりウォーキング大会	ウォーキングを通じて地域住民の健康と親睦を図る。	50
日 永	ひとり暮らし高齢者の集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流。	492
塩 浜	イキイキふれあい GG 大会	地区内高齢者の方とグラウンドゴルフを通じて世代間交流。	105
	ナイターグラウンドゴルフ大会	地区内高齢者の方とグラウンドゴルフを通じてナイターで世代間交流。	77
	高齢者お楽しみ会	地区内高齢者の方を招いて落語、ビンゴ等で楽しむ。	60
	新春落語会	落語を通して世代間交流を図る。	96
楠	ふれあい農園	農作業を通して世代間交流を図る。	20

●ふれあいいきいきサロン開催実績

実施地区 33 地区 (支部を含む) 391 サロン

地区名	回数	参加者数	サロン名
共 同	166 回	2,163 人	いろは会(グラウンドゴルフ・健康体操・絵手紙) 諏訪栄いいきいきサロン、ふれあいいきいきサロン、サロン時計台(編み物)、中部スマイルきょうしつ(子育て・学習)
中 央	22 回	519 人	中央地区ふれあいサロン、新町おしゃべりサロン、ほほえみクラブ(カラオケ・茶話会)
港	51 回	1,018 人	歩こう会、港地区いいきいきサロン、笑和ホネホネクラブ、お茶を楽しむ会
浜 田	23 回	229 人	笑話会、ふれあいおはなし会
同 和	60 回	918 人	あんずの会、同和地区いいきいきサロン
橋 北	12 回	879 人	にこにこサロン日曜給食サービス
海 蔵	273 回	2,632 人	茶のみ友の会、おどり愛好会、お達者クラブ、カラオケ愛好会、書道サークル、茶道サークル、グラウンドゴルフ、音楽療法の会、折り紙サークル、高齢者パソコン教室
羽 津	24 回	362 人	ふれあいサロン「仲良し会」、エミ(笑み)の会(介護予防)
富 田	866 回	18,908 人	ボランティア委員会、富田宅老所 ひだまり、いこいのサロン、すみれサロン、うたおう会、なかよしクラブ、パソコン教室、富田グラウンド愛好会、東富田グラウンドクラブ
大矢知	498 回	5,946 人	松寺寿会、十志町ものづくりの会、ゲートボール愛好者の集い、松寺ふれあいデー、蒔田グラウンドゴルフ同好会、蒔田なかよしサロン(絵手紙・手芸・ちぎり絵・園芸)、なごみクラブ、知りたい輪、松寺ふれあい手芸クラブ、十志町ものづくりの会、御殿まりをたのしむ会、松寺若葉会
八 郷	316 回	4,733 人	あじさい広場、蒔のとう、平津あゆみの会、きらく、すくすく Kid's、さるびあ会、グー・チョコキ・パー、虹の会、懐かしい歌を楽しみませんか、ミュージックベルの会、いいきいき体操、ふれあいサロン、ぼちぼち庵
八郷(西)	537 回	6,954 人	八郷西子ども文庫、ふれあい映画会、すみれ会、ふれあいランチタイム、たんぼぼの会、八郷西もみじクラブ、アスパラ、おたまじゃくしの会、暁風会、ひまわり会(コーラス・手芸・イベント企画・体操)、八郷西陶芸クラブ、トマリ会、陸会、和の会
下 野	241 回	2,426 人	下野・障害(児)あゆみの会「ふれあい」、山城町 諺吟クラブ、ワイワイクラブ勉強会、ボランティアグループ「梨の実会」、コーラス「和み」、あさけが丘1丁目卓球、グランマ、卓球本間グループ、太極気功
三 重 (中央)	461 回	8,069 人	川向グラウンドゴルフクラブ、山之平グラウンドゴルフ同好会、生桑町グラウンドゴルフクラブ、東坂部町 グラウンドゴルフ愛好会、寺小屋(健康体操・イベント企画)、生桑町スポーツクラブ、生桑町ふれあいサロン
三 重 (西)	1,032 回	25,032 人	太九会(談話会・太極拳)、三重西ふれあいサロン スマイル(健康体操・健康ストレッチ・イベント企画)、美里パソコンクラブ、結、金曜クラブ 料理教室、三重三丁目友好会、三重西ラジオ体操同好会、エミ(笑み)の会、三重5丁目ラジオ体操グループ、美里カ丘カラオケ愛好会

三重 (北)	1,104 回	15,052 人	介護予防の会「さえざり会」(手芸・歌・体操・元気サロン1丁目・イベント企画)、坂部が丘五丁目フリークラブ(グランドゴルフ男女・カラオケ・ヨガ体操・イベント企画)、山之色町グラウンドゴルフ愛好会、大沢台さつき会(グランドゴルフ・麻雀・太極拳・歌の会・大正琴・手芸・ラジオ体操・イベント企画)
大谷台	1,012 回	11,279 人	ふれあいいきいきサロン小杉新町、いきいきサロン福寿会、みゆきヶ丘一丁目いきいきサロン、いきいきサロン木曜会みゆき2、いきいきサロン大谷台、大谷台2丁目いきいきサロン長寿会、南垂坂町シニアクラブ(南垂会)、いきいきサロン小杉1、いきいきサロン大空、いきいきサロンお達者倶楽部、いきいきサロン・タルサカ、イキイキサロン小杉長寿会
県	1,076 回	15,330 人	赤水町ふれあいいきいきサロン、いきいきサロン寿会、平尾町ふれあいいきいきサロンふるさと広場、ふれあいクラブ、栄いきいきサロン第1(ゲートボール)、栄いきいきサロン第2(グランドゴルフ)、栄いきいきサロン第3(手芸)、ハイツにこにこ会、スイスピー(大正琴)、あがたいいきいきサロン(ゲートボール)、大沢いきいきサロンお達者倶楽部、いきいき体操仲良会、平尾町いきいきサロン第2(グランドゴルフ)、グランドゴルフ愛好会、グランドゴルフ仲良し会、カラオケ仲良会、赤水町グランドゴルフ仲良会、北黒江グランドゴルフ愛好会、五月会(大正琴)、大沢いきいきサロンお達者倶楽部、ヨガ仲良し会
桜	181 回	3,625 人	憩いの家、駅前憩いの家(健康講座・健康体操と歌・手芸・映画鑑賞)、山上いきいきサロン(パッチワーク・[映画・音楽会]・健康体操)、桜花台ふれあいサロン(健康体操・イベント企画)、ボランティアグループわかば会、ミニデイサービスともだちの和、桜南ほかほかくらぶ、のびっこ、智積ふれあいイキイキサロン、一色いきいきサロン、ほっとカフェ“ほかほか”、桜台3丁目交流サロン
川島	237 回	4,485 人	なんぶ塾、西部ふれあい会、川島映画劇場、川島福祉ふれあいいきいきサロン、ゆーらくサロン、けやき台カラオケ会、けやき台グランドゴルフ、三滝台卓球クラブ木曜会、三滝台サロン「ふれあい」、三滝台グランドゴルフ倶楽部、いきいきサロン絆
神前	277 回	3,905 人	菅原町ふれあい広場(生け花・卓球・グランドゴルフ)、寺方町一区 ふれあい広場(グランドゴルフ・カラオケ・お達者クラブ)、高角町ふれあい広場、笑話会ふれあい広場、尾平町ふれあい広場、上名ヶ丘ふれあい広場、美里ヶ丘ふれあい広場、寺方町二区ふれあい広場
常磐	724 回	8,259 人	きらめきサロン(カラオケ・ストレッチ・グランドゴルフ・生け花・イベント企画)、久保田ふれあいの会(手芸・楽器・イベント企画)、西松本町 ふれあいサロン(生け花・囲碁・お茶べり会・花壇づくり・グランドゴルフ・イベント企画)、青葉町生き生きサロン(ピンポン・イベント企画・グランドゴルフ・水墨画・生花・カラオケ)、いぐらふれあいの会、いきいきサロンほほえみの会、まつもとイキイキクラブ、青春映画サロン西伊倉、城東シニアクラブ(イベント企画・菜園作業・[囲碁・将棋]・お話会)
四郷 (旧四郷)	302 回	5,890 人	四郷ふれあいいきいきサロンやんばいやね(イベント企画・手芸)、いきいきサロン悠友室山(フォークダンス・お達者クラブ・歌の会・介護センター講和・イベント企画・足裏健康法と食育)、いきいきサロン「きずな」(グランドゴルフ・イベント)、出雲の森(グランドゴルフ・フォークダンス・イベント企画)
四郷 (笹川)	284 回	7,797 人	ふれあいサロンわかさ、桜の会、ごらくクラブ、おしゃべりサロン、18なでしこ会、いきいきサロン微笑、笹川ボブラの会
四郷 (高花平)	401 回	7,502 人	小林町 ほほえみ会、絵手紙教室、ミニ福祉教室、生活リハビリお達者教室、3中いこいっこ、5中いこいっこ、昭和サロン、小林町ラジオ体操愛好会
小山田	233 回	3,125 人	西山町はればれクラブ、鹿間町元気になる会、和無田町撫子会、子育てひろば、小山町グランドゴルフ健康会、ひだまりカフェサロン、山田町自治会(高齢者教室健康体操・[囲碁・将棋]・高齢者と語る会)
水沢	292 回	3,334 人	茶の実の会らふらっとら、葉徳の会水沢、起勢の会、青葉会、笑顔の会、そば打ち同好会、水沢クラブナ・フラ、水沢茶どころ吟詠会、茶っ都水沢、水沢子育てサロン、墨楽会、ツバキ会
日永	909 回	29,534 人	青空サロン、ミニデイサービス ふれあい会、えがお、元気火曜日会、猿法師ラジオ体操同好会、泊山南部たけクラブ、サロンきらら、アロハサークル、追分町つくし会、小柳町カラオケ同好会、陽だまり、グランドゴルフ新町クラブ、絵手紙教室、南日永ラジオ体操クラブ、ついでたち会第4クラブ、気功を楽しむ会、ひまわりサロン、前田新町体操教室いきいきサロン、お達者クラブ

塩 浜	695 回	9,363 人	大井の川町カラオケ同好会、竹の子会A、川合町なかよし会A、七つ屋町自治会ふれあい広場福寿草A(いきいき会・お達者クラブ・グランドゴルフ)、海山道町ふれあいサロン、川合町なかよし会B、七つ屋町自治会ふれあい広場福寿草B、竹の子会B、グランドゴルフ若竹会、馳出町イキイキサロン、お達者クラブ磯津(ストレッチ)お達者クラブ磯津北、お達者クラブ磯津西、大里町お達者クラブ、大里町カラオケ同好会、大里町グランドゴルフ愛好会 ポエム小浜(七宝教室・グランドゴルフ・イベント企画)、遊遊倶楽部、いきいき“絆”づくり、ふれあいの集い、磯津町ふれあいサロン
内 部	106 回	1,874 人	東原町「いきいきサロン」、がらがらどんの会(森力山町)、ぼっかぼか、笑話会、あったか交流サロン、サロンde竈、北小松ふれあいいきいきサロン高齢者及びチビっ子教室、歌の会小古曾教室、小古曾グランドゴルフ愛好会、ニコニコヨガ教室、ハツツツ諷吟教室、ふれあいピンポン、キッチンフレンド
河原田	49 回	1,066 人	すくすくサロン、いきいきサロンあすなろ会、いきいきサロンオレンジ、いきいきサロン 貝塚町、大治田 ふれあいサロン
楠	65 回	1,733 人	栄町街角くらぶ、錦町・昭和町街角くらぶ、北本町街角くらぶ、南本町街角くらぶ、旭町街角くらぶ、幸町二区街角くらぶ、吉崎ふれあい街角くらぶ
保 々	10 回	413 人	ふれあいいきいきサロン桑の実

合 計 12,539回 214,354人

(2) 地域福祉活動支援

①福祉コミュニティの推進

地区民生委員児童委員協議会への参画等をとおして、各地域の社会資源や福祉課題の整理を行なった。

②先駆的事業の開発

成年後見制度や権利擁護事業に関わる相談のみでなく、制度の狭間で支援の行き届かないケース等に柔軟に対応できるように本事業に関する相談窓口の一本化を図り、複数の関係機関につなぐプラットフォーム的な相談窓口を設置しました。また、支援機関につなげるための支援「つなぎ支援」を実施。制度の隙間に対応できるように研究をすすめています。

内 容	件 数
新規相談件数	473件

相談対応内訳

	訪 問	電 話	来 所	その他
つなぎ支援	971件	1,524件	134件	354件

・四日市市地域後見サポート事業の実施

市や福祉・司法関係機関との連携を図り、市民からの成年後見制度に関する相談や成年後見制度を必要とする人々の支援を行う事業を実施した。

内 容	件 数
支援実人数	216人
受任支援	10人(受任中：8人、終了：2人)

相談対応内訳

	訪問	電話	来所	その他
相談支援	406件	616件	84件	168件
後見人支援	1件	2件	2件	3件
受任支援	344件	270件	18件	30件

・なるほど出前講座の開催

福祉に関する情報や制度についてわかりやすく情報発信するしくみとして、出前講座を開始した。

5月24日(土)	人権プラザ 障害理解講座
6月6日(金)	下野・活き域ネット① 後見出前講座
6月17日(火)	下野・活き域ネット② 後見出前講座
6月24日(火)	下野・活き域ネット③ 後見出前講座
7月18日(月)	北地域勉強会 後見出前講座
10月10日(金)	八郷地区高齢者大学① 後見出前講座
10月10日(金)	八郷西地区高齢者大学②後見出前講座
10月20日(月)	笹川西地区福祉講座 後見出前講座

・権利擁護支援フォーラム in 四日市の開催

全国権利擁護支援ネットワークと共催で中部・東海・北陸ブロックの研修会として開催

- ・日 時 平成27年1月17日(土) 午後1時30分～
- ・場 所 総合会館8階視聴覚室
- ・参加者 約100名
- ・内 容 講演・パネルディスカッション
- ・講 演 「ゴミ屋敷で暮らす人々～セルフネグレクトとは～」
- ・講 師 帝京大学 教授 岸 恵美子 氏

(3) 四日市市福祉教育大学

①四社協福祉ゼミナールの開催

福祉の考え方の基本視点を見つめなおす機会・福祉の最新情報や専門知識を学ぶ場として開講し、ふだんのくらしのしあわせについて考える市民(福市民)の養成を行った。今年度は福祉協力員の研修の機会も兼ね、興味のある講座のみの参加も可能な形で実施。全体で60名の参加があり、福市民として51名が登録した。

	内 容	参加数
第1回 9月18日(木)	開講式、講座～団塊・シニア世代が主体的に学習&社会貢献することの意義～ 大阪教育大学 新崎 国広 氏	44名
第2回 10月16日(木)	家族って何?～暮らしのカタチを想像する～ 大阪教育大学 新崎 国広 氏	37名
第3回 11月20日(木)	子ども・若者への切れ目のない支援を! 日本福祉大学 野尻 紀恵 氏	37名
第4回 12月18日(木)	今地域で実践されている活動! 幸重社会福祉士事務所 幸重 忠孝 氏	29名
第5回 1月15日(木)	ボランティア・市民活動ってなんだろう? 日本福祉大学 村上 徹也 氏	42名
第6回 2月19日(木)	福市民のつどい 四社協福祉ゼミナールの学びを実践につなげよう 大阪教育大学 新崎 国広 氏	49名

②地域福祉ゼミナールの開催

福祉協力員等が組織化されている14地区全てで、地域の福祉課題の共有と解決策を見出すことを目的に座談会を開催した。

③専門ゼミナールの開催

	内 容	参加者
3月16日(月) 総合会館8階	「地域でのトラブル解決に役立つ権利擁護講座」 講師：総合診療センターひなが 精神保健福祉士 後藤 敦子 氏 講師：北地域包括支援センター 主任介護支援専門員 真田 富紀 氏 講師：市川社会福祉士事務所 社会福祉士 市川 知律 氏	66名

④夢をかなえる授業の開催

- ・日 時 平成26年10月7日(火) 午後1時30分～
- ・場 所 メリノール高校体育館
- ・参加者 約100名
- ・内容 卒業生として後輩たちへのメッセージを講演
- ・講演 「気象予報士になるまでの自分・・・」
- ・講師 気象予報士 石樽 亜紀子 氏 (メリノール高校卒業生)

(4) 福祉総合相談事業

関係機関との連携を図り相談事業の充実に努めた。

- ・開設場所…市総合会館 2階 福祉総合相談室
- ・開設日 …月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(年末年始、祝祭日を除く)
- ・相談件数…95件

相談方法	電 話	来 所
件 数	76	19

相談事項	暮らし・住まい	家 族	健康・医療	人権・法律	教育・福祉	その他
件 数	35	7	28	4	48	7

※相談事項は重複

【ふれあいのまちづくり事業 まとめ】

各地区社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動の事業を展開、とりわけ小地域福祉活動の充実に図るためにふれあいいいききサロンの活動を種目別に整理し、認定を実施した。事業の特徴にあわせて支援ができる体制づくりを進めてきた。実績として391グループが12, 539回参加延べ人数は214, 354人となり介護予防の一つの形として地域に定着しつつある。また、リーダー研修会やブロック会議など地区社会福祉協議会連絡協議会の組織強化に取り組んだ。

福祉人材の養成の機会としては、四社協福祉ゼミナールや地域ゼミナール、専門ゼミナールの3つのカテゴリーで福祉人材の養成および研修の機会を作り福祉人材の養成を図っている。

包括的な福祉総合相談窓口として、制度の隙間や支援者がいない方の支援体制として「つなぎ支援」を実施。福祉関係機関と協働で市民の新しいセーフティーネットの体制作りに取り組んだ。

また、各地区民生委員児童委員協議会へ参画し、民生委員児童委員が取り組む高齢者、障害者(児)への支援、「地域子育てネット0～6会議」をはじめとする子育て支援活動等で明らかになった各地域の社会資源の把握や福祉課題の解決に向けた活動に対する支援を強化した。

引き続き、各地域の福祉課題解決に向けて、地区社協、民生委員児童委員、在宅介護支援センター、ボランティアなどとコミュニティソーシャルワークを実施強化していく。

4. 福祉事業

市民の求める多様な福祉ニーズに対応するため、介護保険事業、障害者自立支援事業、地域福祉権利擁護事業、福祉施設管理運営事業等を実施し、利用者本位の福祉サービス提供に努めた。

(1) 介護保険関連事業の実施

① 居宅介護サービス事業（介護予防事業含む）の実施

・訪問介護事業の実施

職員体制としては、常勤職員が核となり、職員間の連携を強化し、効率的で利用者のニーズに即した質の高いサービスの提供に努めた。

また、介護予防訪問介護については、利用者の介護予防・自立支援を目標にサービスを提供した。

●介護保険訪問介護サービス延利用者数

区分	市 社 協	その他	合 計
人数	339名	445名	784名

●介護予防訪問介護サービス区分別延利用者数

区分	要支援1	要支援2	合 計
人数	320名	269名	589名

●介護保険・訪問介護サービス内容別延利用回数

区分	生活援助	身体介護	身体生活	合 計
回数	2,739回	9,844回	2,554回	15,137回

●介護保険・訪問介護サービス介護度別延利用者人数

区分	介 護 1	介 護 2	介 護 3	介 護 4	介 護 5	合 計
人数	261名	162名	112名	98名	151名	784名

② 居宅介護支援事業の実施

居宅介護支援事業所	居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数	一ヶ月平均件数
居 宅（諏訪町）	居宅サービス計画作成	99.3件
	介護予防プラン作成	
居 宅（楠 町）	居宅サービス計画作成	76.3件
	介護予防プラン作成	
合 計	居宅サービス計画作成	—
	介護予防プラン作成	

利用者ニーズに即した質の高いサービスを提供する事を目標にマネジメントを行い、居宅サービス計画を作成した。近年、虐待、ターミナル、認知症独居、若年ケース等さまざまな環境におかれた利用者が増えてきている。また、介護者への支援も必要なケース（介護者が認知症、精神疾患、未成年など）もあり、多職種多様の事業所や関係機関と連携調整が必要となってきた。そのため個々の介護支援専門員の質を向上させるため研修会や会議等にも積極的に参加し、各居宅において定期ミーティングを行い各ケースの共有を図った。

- ・各居宅介護支援事業所においてケースミーティングを開催（毎月1回）
- ・介護保険サービス事業者等集団指導（1回）
- ・四日市市介護保険サービス事業者連絡会への参加（6回）
- ・消費者被害防止及び認知症研修への参加（3回）
- ・医療関係研修（ターミナル、在宅診療、感染症等）3回・・・参加4名
- ・福祉用具・住宅改修研修（新作特殊寝台説明会、住宅改修セミナー）5回・・・参加8名
- ・人権研修（交流分析、人権フェスタ等）1回・・・参加1名
- ・認定調査研修（審査基準等）3回・・・参加5名

- ・防災関係(災害ボランティア関係) 2回・・・参加2名
- ・地域福祉関連研修 1回・・・参加3名
- ・三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会主催研修会 1回・・・参加1名

③介護保険認定調査業務の実施

8,870件(更新・変更申請)の要介護認定調査を四日市市からの受託事業として、調査員16人体制(平成27年3月31日現在)で本業務を行った。

また、より精度の高い調査を行うため、介護・高齢福祉課とのミーティングを行った。

●月別件数(名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
在宅	700	659	693	698	631	686	
施設	94	113	78	87	84	70	
合計	794	772	771	785	715	756	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅	699	612	615	621	570	655	7,839
施設	97	70	89	78	68	103	1,031
合計	796	682	704	699	638	758	8,870

●参加研修会等

職場外研修

開催日	研修会名	参加人数
4月17日(木)	平成26年度認定調査員新規研修会	1名
7月3日(木)	平成26年度認定調査員現任者研修会	9名
8月29日(金)	平成26年度認定調査員現任者研修会	6名
10月2日(木)	平成26年度三泗地区認定調査員研修会	20名

職場内研修

開催日	研修会名	参加人数
10月17日(金)	1年未満嘱託職員フォローアップ研修	4名
10月28日(火)	適正化事業報告及び勉強会	3名
10月30日(木)	適正化事業報告及び勉強会	4名
11月5日(水)	適正化事業報告及び勉強会	3名

④通所介護事業「ゆりかもめ」(介護予防事業含む)の実施

- ・「利用者の自立支援」「利用者による選択(自己決定)」「利用者本位」を基本理念に、安全・安心で信頼されるサービスを目指し、食事の提供、入浴、送迎、生活に関する相談・助言、健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の支援、並びに機能訓練を提供した。
- ・実利用者数 1,001名、延べ利用者数 7,905名、一日平均 26.5名であり、昨年度と比べて実利用者数が18名、延べ利用者数が23名と微増している。
- ・ボランティアの受け入れを積極的に行い、ボランティアと利用者の交流を深めるとともに、施設の日課の選択肢を広げることで、サービスの向上に努めた。

●月別利用者数(名)及び営業日数(日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	86	81	83	78	78	79	77	80	80	83	85	87	977
延利用者数	688	647	680	695	647	616	647	603	620	606	631	707	7,794
営業日数	25	24	25	26	26	24	26	23	26	25	23	25	298

<障害児・者デイサービス事業>

障害児に学校休業日や放課後の日中活動の場を提供するとともに、保護者のレスパイト(休養)等を目的として、介護保険のデイサービス事業所等が活用できる「放課後等デイサービス事業」の利用施設として障害児を受け入れた。また、障害者に対する「生活介護事業所」の利用施設として障害者の受け入れも行った。

・放課後等デイサービス事業利用者数(障害児)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	0	2	2	1	0	2	0	0	2	0	0	9
延利用者数	0	0	3	4	3	0	2	0	0	2	0	0	14

・生活介護事業所利用者数(障害者)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	15
延利用者数	7	6	9	7	8	7	7	5	8	11	7	15	97

(2) 在宅福祉事業の実施

①地域福祉権利擁護事業の実施

三重県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力に不安があり、契約内容を一定程度理解できる高齢者や知的・精神障害者等を対象に福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。新規契約件数は102件で、昨年度に引き続き100件を超えた。

所長1人、専門員4人、事務補助員1人、生活支援員47人(四日市市40人、川越町5人・朝日町2人)体制で行政、民生委員児童委員や在宅介護支援センター等と連携を図り、事業を展開した。

また、生活支援員の資質向上を図るため、生活支援員研修会(初任者向けを含み2回)開催するとともに、三重県社会福祉協議会主催の研修会へ参加した。

(ア) 相談件数…4,637件(年間)

●相談対象別件数(件)及び割合(%)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
2,170(47)	927(20)	1,447(31)	93(2)	4,637(100)

※相談件数は、専門員及び推進員が利用者や市民等から相談を受け支援を行った件数

(イ) 契約締結件数推移

年 度	新規契約件数	契約解除件数	年度末契約件数
25年度	104件	111件	262件
26年度	102件	51件	313件

(ウ) 平成26年度末実績

a 生活支援員の派遣状況

週に1回	隔 週	月に2回	月に1回
165件	32件	70件	46件

b 利用料負担状況(1回1,000円)

有料	無 料
38件	275件(生活保護受給者…147件、住民税非課税者…128件)

c 市町別契約件数内訳

四日市市	朝日町	川越町	その他
295件	2件	12件	4件

d 契約対象内訳

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
169件	43件	91件	10件

e 延支援回数

生活保護	非課税	課税	計
5,574回	4,480回 (4,312回)	917回	10,971回

※（ ）内：市助成対象件数

(エ) 生活支援員研修会の開催・参加

a 四日市市社会福祉協議会主催

日時 平成26年6月11日(金) 13時～15時

目的 活動歴が概ね2年未満の生活支援員の資質向上を図る。

参加 15名

内容 講義 「生活支援員の実務について」

講師 三泗地域権利擁護センター 専門員

日時 平成27年1月21日(金) 10時～12時

目的 生活支援員の資質向上を図る。

参加 33名

内容 講義 「精神障害者への理解について」

講師 総合心療センターひなが 下方 宏明氏

b 三重県社会福祉協議会主催

日時 平成26年11月19日(水) 13時30分～16時

目的 生活支援員の資質向上を図る。

参加 30名

内容 講義 「利用者との関係づくりと支援方法について」

講師 公益社団法人 認知症の人と家族の会
三重県支部長 下野 和子氏

(3) 障害者自立支援事業

①居宅介護事業の実施

障害のある人が事業者との対等な関係にもとづき、自らサービスを自由を選択し、契約によってサービスを利用する自立支援制度に基づき、自己決定・自己選択を尊重し、サービスを提供した。

●自立支援制度・居宅介護サービス延利用者数

区分	身体障害	知的障害	精神障害	合計
平成25年度	569名	85名	177名	831名
平成26年度	525名	94名	236名	855名

● 自立支援制度・居宅介護サービス内容別延利用回数

区分	家事援助	身体介護	合計
平成 25 年度	5,030回	6,888回	11,918回
平成 26 年度	4,743回	7,124回	11,867回

(4) 福祉施設等管理運営事業

① 中地域包括支援センター

(ア) 包括的支援事業

・ 総合相談支援業務及び権利擁護業務

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受け、管内の在宅介護支援センターと連携し、相談内容に即したサービスや制度に関する情報を提供しながら対象者への個別支援を行った。また、高齢者の権利擁護の観点から支援が必要な方については、三泗地域権利擁護センター等の関連機関と連携し対応を行った。(相談件数年間5,587件)

<相談件数>

	本人	家族	その他	合計
来 所	73	45	20	138
訪 問	4,723	92	38	4,853
電 話	180	195	221	596
合 計	4,976	332	279	5,587

上記のうち、高齢者虐待に関する相談件数 年間41件

三泗地域権利擁護センターと連携し対応を行った件数 年間37件

・ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

a 在宅介護支援センター中ブロック会議

管内の在宅介護支援センターを対象としたブロック会議を開催し、在宅介護支援センターのランチ機能のあり方や地域包括支援センターとの連携について担当職員との意見交換会を行った。(年3回)

b 介護サービス事業者との連携

四日市市介護保険サービス事業者連絡会の企画・運営等に参画し、介護支援専門員や、他の介護サービス事業者との連携を図り、質の高いサービスの提供を図るための研修会や情報交換を行った。また、地域密着型サービス事業所については、同事業所が開催する運営推進会議に積極的に参加して連携を図った。(介護保険サービス事業者連絡会への参加・年20回、地域密着型サービス事業所運営推進会議への参加・年21回)

c 医療・介護ネットワーク会議の開催

医療と介護の連携を推進するため、三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)、訪問看護ステーション、訪問リハビリ事業所など医療分野の関係機関とともに担当者間の会議(世話人会)や研修会(全体会議)を開催した。(世話人会・年5回、全体会議・年3回)

d 認知症高齢者等の地域支援体制づくり

地域で認知症高齢者を支えるための基盤づくりとして、地域の関係機関が行う認知症サポーター養成講座に講師として参加した。(年2回)

e 地域包括支援センター連絡会への参加

包括的支援事業の実施状況や介護予防事業の進捗状況の報告及び情報交換のために、市が開催する連絡会に参加した。(年12回)

f 介護支援専門員に対する支援

随時地域の介護支援専門員からの個別相談に応じ、支援困難事例への指導・助言等を行った。

g 地域ケア会議準備会への参加

地域包括支援センター・在宅介護支援センター合同会議の場を通じ、在宅介護支援センターとともに地域ケア会議実施に向けての具体的な検討を行った。(年4回)

h 地域ケア会議開催のための地域説明会への参加

管内の在宅介護支援センター運営協議会や地域ケアネットワーク会議の場を通じ、地域ケア会議実施に向けての地域関係者に対する説明会に参加し、地域関係者とともに地域ケア会議のあり方等の協議を行った。(年10回)

(イ) 要支援者(予防給付)の介護予防プランの作成

要介護認定で要支援1・2と認定された方に対して、自立に向けた具体的な目標を明確にした介護予防プランを作成し支援を行った。

<介護予防プラン件数>

年間10,154件(月平均846件)内、他事業所への委託分2,572件(月平均214件)

(ウ) 地域支援事業における介護予防事業

・二次予防事業

二次予防事業対象者の方に対して、要介護・要支援状態となることを予防とした通所型介護予防事業(運動器の機能向上・栄養改善・口腔機能向上)と訪問型介護予防事業(閉じこもり・うつ・認知症予防支援)を実施した。

a 通所型介護予防事業(参加実人数169名、延参加人数748名、開催回数115回)

b 訪問型介護予防事業(訪問実人数13名、延訪問人数13名、訪問回数13回)

・一次予防事業

「よっかいち・はつらつ健康塾!」を在宅介護支援センター、健康ボランティアの協力を得て実施した。(実施回数65回、合計参加者数1,368名)

②くす在宅介護支援センター

(ア) 総合相談

四日市市からの委託を受けて楠地区を担当エリアとし、高齢者・障害者等の各種相談に対応した。相談内容に応じて、介護保険サービスのほかに高齢者福祉サービスの申請代行及びインフォর্মールサービスが利用できるように調整を行った。

<相談件数>

	本人	家族	その他	合計
来 所	18	81	24	123
訪 問	228	18	4	250
電 話	44	73	124	241
合 計	290	172	152	614

<昨年度実績>

	本人	家族	その他	合計
平成25年度	266	177	115	558

(イ) 地域連携、協力体制の構築

- ・楠地区民生委員児童委員協議会定例会への参加(毎月第二木曜日)
- ・楠地区社会福祉協議会総会への参加
- ・楠地区老人クラブ連合会役員会への参加
- ・楠地区内居宅介護支援事業所情報交換会の開催

(ウ) 介護予防普及啓発、福祉活動推進事業

- ・転倒骨折予防教室「こけねえざクラブ」の開催(毎月2回:第一三水曜日)

参加者:平均23名/月

- ・若がえり体操教室(毎月第一水曜日)参加者:平均5名/月

- ・地域行事への参加

街角くらぶ、老人クラブの集まり等へ参加し、在宅介護支援センターのPR、消費者被害の情報提供を行ったり、介護保険制度の説明、介護予防体操、認知症予防等の出前講座を実施した。

- ・家族介護者の集い「認知症カフェ」の開催
- ・「街角カフェ」の立ち上げ協力

(エ) 一次予防事業

・「よっかいち・はつらつ健康塾！」の協力

地域包括支援センター・在宅介護支援センター・健康ボランティア（ヘルスリーダー）と協働し、介護予防に関する知識を普及・啓発をしていく。

実施回数：全9回開催

（平成26年5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、平成27年1月、2月）

③中央老人福祉センター（指定管理施設）

施設の市民利用に供するほか、民踊、詩吟、水墨画、大正琴教室を開催するとともに看護師を配置し、機能回復訓練及び健康相談などに応じ、高齢者の健康管理に努めた。また、利用者ニーズに基づき、歌謡ショー、落語、音楽会を開催するとともに、交通安全講習会や避難訓練、いきいき体操等を行った。

・健康相談日数 233日 ・延人数 9,115名 ・1日平均 39名

【利用状況】

団体利用数	一般利用数	計	一日平均	開館日数	
393団体	6,482名	34,199名	40,681名	137名	297日

④障害者自立支援施設「共栄作業所」（指定管理施設）

「共栄作業所」は障害者自立支援法で定められた新事業体系への移行を平成23年4月に実施し、就労継続支援B型事業所として4年目を迎えた。当作業所は、一般の事業所に雇用されることが困難な利用者に対し、生産活動・その他の活動をとおしての仲間づくりや生活面での自立を目指して支援を行った。また、受注作業や自主製品作業に取り組むとともに、利用者の高齢化・障害の重度化が進行する中で、個々の能力や身体機能に見合った作業と生活の支援を行うことで、心身ともに充実した日々が送れるように努めた。

さらに、利用者が地域で充実した生活を送れるよう、保護者会（NPO法人）が、主体となって取り組んできたグループホーム「クローバーの家」、「しらとりホーム」の運営についても、グループホーム担当者会議への参画や、主催行事等への協力を通じて連携を図った。

利用者数35名（定員37名）

活 動	内 容
自主製品作業	さをり織り、縫製、布草履づくり
受注作業	リサイクル解体作業、封筒点字刻印、贈答品箱詰め、製品飾り付け作業、農耕関連作業、割箸の袋入れ作業、紙製品加工作業
実 習	目的別社会実習（買物・ボウリング等）サークル活動（リズムダンス、カラオケ、ドライブ、町に出よう）
社会体験	即売出店、社会工場見学、さをり織り展示会
運動・レクリエーション	散歩、余暇活動、体操、音楽鑑賞、ミニ運動会、カラオケ大会

- ・自主製品の販売促進のため、地区文化祭などの各種即売に積極的に参加した。また、常時、製品の展示・販売を常設の店舗で行った。
- ・イオン四日市尾平店「福祉の店」展示即売会では、さをり織り体験も実施した。また人権フェスティバル、四郷文化祭ふるさとまつり、四日市萬古まつりのイベントなどに参加し、当事業所のPRと併せて啓発活動を行った。
- ・第6回目の「さをり織り展示会」を今年度も昨年に引き続き作業所で開催し、さをり織りのPRと販売の拡大に努めた。
- ・個人、団体ボランティアとの連携を図り、作業への協力や、地域交流会（ミニ運動会）、ボランティア交流会（カラオケ大会）をとおして利用者との交流促進をした。
- ・見学者を受け入れ、利用者との交流や障害者理解の促進、福祉体験の場を提供した。
- ・昼の休憩時に遠出の散歩などによる体力づくりに努めるとともに、利用者の健康状況に合わせた食事の提供を行った。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を定例的（年3回）に開催した。

- ・全国社会福祉協議会セルフ協の承認を受けた「幻のなたね油」の販売を継続し、農耕関連作業による就労支援活動の充実を図った。
- ・利用者へのサービスの質の向上を図るため、みえ福祉第三者評価の受審結果に基づき、改善委員会を設けた。
- ・施設機能を活かし、福祉系・教育系大学5校から介護福祉実習（介護福祉士、教員免許等資格取得のため）の学生を受け入れた。
- ・毎月1回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について、および危機管理意識の向上を図った。

⑤障害者自立支援施設「たんぼぼ」（指定管理施設）

常時介護を必要とする重度の障害者に対して、利用者1人ひとりに応じた「個別支援計画」を作成し、排泄・食事等の介護や創作活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な支援を行った。また、障害者の社会参加に重点を置き、地域住民との交流・社会体験の機会を多く設けた。

さらに、利用者の重度化と高齢化による機能低下に対応して、家族や関係機関との連携を深め地域で豊かな生活が実現していくための支援を実施した。

また、医療的ケアを必要とする利用者の受け入れのため、産業医による巡視を行った。

利用者数34名（定員35名）

活 動	内 容
作 業 活 動	アルミ缶回収、缶つぶし、リサイクル用品解体
自 立 訓 練	散歩、身体機能訓練、理学療法（相談を含む）、音楽療法、感覚統合療法、乗馬療法、プール
生 活 活 動	食事、排泄、更衣、歯磨き、社会体験、買物実習、一泊社会体験、グループ外出、半日外出
文 化 活 動	レクリエーション、紙すき、ビーズ、園芸、ステンシル、工作、季節活動、音楽活動、ピアノ鑑賞
在 宅 支 援	相談支援事業所・ショートステイ先等との連携福祉制度、福祉サービス情報の提供
日 中 一 時 支 援	四日市市の地域生活支援事業として障害者総合支援法に基づく日中一時支援サービスを提供する。原則として自立支援給付費の支給決定を受けた方を対象とし、広く市民の方に施設を利用して頂けることを目指した。

- ・利用者の身体状況や家族の高齢化など家庭の事情により、外出が困難な利用者や、外出の機会が少ない利用者に一日外出、半日外出を実施するとともに、外出先で食事・買い物をするなど経験領域を広げた。
- ・宿泊を通して、利用者の様々な可能性を見出すことを目標に「一泊社会体験」（浜松方面）を実施し、昨年度に引き続き公共交通機関を利用することで、より体験の幅を広めるとともに、社会への啓発を行った。
- ・アルミ缶回収を通して、地域住民や企業及び小・中学校との交流を深めた。四郷地区の栗狩り参加や、たんぼぼ主催のお茶会・夏祭り・餅つき大会・四郷高校吹奏楽部演奏会の開催・地域清掃活動の実施・四郷地区文化祭などの地域行事に参加し、地域住民との交流を深めた。またイオン四日市尾平店での「福祉の店イベント広場」に参加して即売と施設の紹介を行い地域住民との交流に努めた。
- ・缶回収で、地域の小学校を定期的に訪問し、児童との交流を深めるとともに、環境理解や障害理解の促進に努めた。
- ・保護者とともに「災害に備える」勉強会を開催し、災害時緊急袋・緊急対応カードの作成等を実行した。また、施設として、災害時の対応について、職員の意識の共有を図った。
- ・地域交流を深めるため、近隣の四郷在宅介護サービスセンター・グループホーム・四郷保育園

等の利用者の方と行事を一緒に行い、より地域に根づいた施設運営を行った。

- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表、ボランティア代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を定例的に開催した。また、四郷地区の防災行事・人権研修に積極的に参加し、地域の一員としての活動にも力を入れて取り組んだ。

⑥障害者自立支援施設「あさけワークス」（指定管理施設）

就労や生産活動の機会の提供、一般就労に必要な知識や能力向上のために必要な訓練を行なう施設として適切な運営に努めた。利用者の障害特性を把握し、一人ひとりに応じた支援プログラムを考え、個別支援計画に基づいて支援を実施し、利用者の就労意欲を引き出し、利用者によっては就労移行支援事業等への利用を目指せるよう取り組みを行なった。

利用者数12名（定員20名）

活 動	内 容
受 注 作 業	軽作業（リサイクル解体作業、ししゃもシール貼り、シートカバー作業など）点字名刺・名刺刻印作業
自 主 作 業	押し花製品、クラフト製品
リサイクル作業	アルミ缶回収、空き缶分別作業
レクリエーション	地域交流会、花見交流会、八郷地区ふれあいまつり

- ・地域交流への取り組みとして、地区の招待行事「八郷ふれあい祭り」に参加し、自主製品の販売とともに施設紹介を行い近隣住民との交流を図った。
- ・施設ボランティアの登録と受け入れを積極的に行い、利用者との交流会を実施した。
- ・体験学習の場として、市内小・中学校生徒の福祉体験や職業体験を受け入れ施設や障害への理解を促す機会を提供した。
- ・施設も地域の一員であることを自覚するために、地元八郷地区連合自治会主催の清掃活動「クリーンアップ八郷」に利用者・職員全員で参加した。また月一回程度、利用者・職員全員で朝明川の堤防沿いを中心に地域の清掃を行った。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を開催した。

⑦障害者福祉センター（指定管理施設）

障害のある人の社会参加と交流の促進を目的として、身体障害者デイサービス事業等を実施するとともに、併せて障害者福祉関係団体の支援や障害者ボランティアの養成、障害者福祉の啓発等を行った。各事業の実施にあたり、市社協がもつ様々の部署と連携して、公の施設として公正・公平かつ専門家によるサービスの提供に努めた。

(ア) 身体障害者デイサービス事業

a 機能訓練事業

言語訓練では、主に脳血管障害の後遺症により、言語に障害のある人を対象に言語症状や社会参加の状態に合わせて個別及び集団による訓練を行なった。また、高次脳機能障害者の集団訓練では、社会参加の機会を広げ、残された機能の向上のための訓練を実施した。

理学療法では、事故や疾病の後遺症などにより、身体機能が低下した在宅の人を対象に機能訓練を実施した。特に、家庭でできる自主訓練や公共交通機関の利用訓練を支援した。

b 社会適応訓練事業

歩行訓練では安全な移動手段としての白杖歩行技術の習得を目的として、移動面の自立支援をおこなった。白杖の紹介から申請、使用方法、そして同行援護利用時の技能について相談で対応した。また、「点字」という文字を獲得することで、自分自身で生活に必要な情報を得られるよう点字教室を開催した。視覚と聴覚に障害のある重複障害者に対して、コミュニケーション手段としての点字の学習の場を提供した。

c 創作的活動事業【スライドショー動画制作教室】

パソコン等の機器を介して動画制作の方法・技術を学ぶことで自分の想いを表現するとともに、活動の幅を広げるきっかけとすることを目的に創作的活動を行った。スライドショー動画制作教室は、26年度で終了となる。

[身体障害者デイサービス事業実施状況]

		契約者(名)	回数(回)	延利用者数(名)	
1	機能訓練事業	言語訓練	5	137	137
		社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	11	39	183
		終了者フォロー等		227	227
		理学療法	38	662	662
2	社会適応訓練事業	点字教室(視覚障害者)	6	20	88
		歩行訓練(視覚障害者)	5	26	26
		相談等		36	36
3	創作的活動事業	スライドショー動画制作教室	9	22	180

d 障害児デイサービス事業

18歳以下の児童を対象に、長期休暇中に活動する場を提供するとともに、保護者のレスパイト(休息)等を目的として実施した。家庭や学校では体験できないことを企画し、自律と自主性を育んだ。(利用契約者数59名)

回数	小学生	中学生	高校生	計
15回	50名	9名	8名	67名

e 失語症会話パートナーとの交流会

失語症者が失語症会話パートナーを利用して、会話を楽しむ場を提供した。

	参加者(名)	回数(回)	延参加者数(名)
失語症者	18	22	207
失語症会話パートナー	23		206

f 難聴者・中途失聴者教室

難聴者や家族に対し、耳や補聴器について学び、聞こえにくさを補い、周囲への理解を促す方法について学ぶ機会を作った。

開催日	内容	参加者
3月8日(日)	「補聴器はどこで相談したらいい?—どこで買っても同じじゃないよ— 講師:認定補聴器技能者 山田 幸氏	24名
3月21日(土)	「自分の聴こえやコミュニケーションを上手に説明しましょう—便利な筆談グッズ、筆談アプリも紹介— 講師:(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 要約筆記部 副部長 三重県難聴・中途失聴者協会副会長 藤谷 弘晃氏	15名

g 障害者相談業務

障害者の自立と社会参加を促進するため、障害者の抱えている課題の解決に向けて言語聴覚士、理学療法士、歩行指導員など経験豊かな専門職員が相談にあたりるとともに、より専門的な相談支援機関への紹介等を行った。

(イ) 障害者福祉関係団体の支援

貸館利用がより容易になるように当事者団体の1年間の優先予約や簡便な利用申請など改善を図った。障害者団体事務室の利用については共同で利用することで効率化を図った。また、センター連絡会にて情報交換をしたり、知的障害者の情報交換会、障害者大会の成功に向けて支援を行なった。

登録団体：四日市市身体障害者団体連合会（6団体）、心身障害者団体連絡協議会（3団体）、障害児者関係団体（31団体）、創作的活動自主サークル（9サークル）、ボランティア団体（14団体）の登録がある。

(ウ) 障害者福祉に関する啓発・情報提供

a かけはし掲載5回

社協の広報紙『かけはし』の『障害者福祉センターだより WITH』の常設コーナーで四日市市民向けに広報した。今後も紙面の充実や工夫をはかる。

b 障害者福祉講座の開催

開催日	内 容	講 師	参加者
3月7日(土)	「言葉のきずな」上映会とアフタートーク	講師：内山 二郎 氏 失語症者の劇団『ぐるっと一座』 演出家	53名

c 出前講座の開催

障害者が地域で安心して暮らせるよう地域の障害者に関する理解の促進を図るため出前講座を開催した。情報の授受に関して自分が工夫していること、配慮して欲しいことなどについて障害当事者を講師に迎え体験談を中心に進めた。

- ・開催地域 桜小学校 PTA
- ・内 容 肢体障害、重度重複障害の理解
- ・参加人数 69人

(エ) 要約筆記奉仕員派遣調整等

要約筆記奉仕員派遣のコーディネートを行った。

市事業：229件、事業外：69件

⑧障害者自立生活支援センター「かがやき」

障害のある人が地域で自分らしい、心豊かな生活が送れるよう幅広い支援に努めた。支援対象者は身体障害者だけでなく、精神障害と身体障害が重複した重度の人や高次脳機能障害の人も多く、関係機関による支援ネットワークの構築が求められた。

(1) 相談業務

●相談件数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
25年度	215	131	2	61	32	2	6	10
26年度	239	143	4	50	17	3	2	30

●相談方法

	訪問	来所	同行	電話 メール	ケース 会議	関係機関	その他	計
件数	349	304	76	660	38	2,313	34	3,774

●相談内容

	福祉サービス	障害 病状の理解	保 健・ 医 療	不安解消 情緒安定	保 育・ 教 育	家族関係 人間関係	家計・経済
件数	2,028	83	289	122	71	274	118

	生活技術	就 労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	189	125	56	183	311	3,849

(2) 自立支援協議会生活支援部会の運営

四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の専門部会である生活支援部会において、地域課題の抽出と解決に向けた協議を行った。今年度より各事業所連絡会が本格的に活動開始した。26年度は各連絡会より上げられる個別事例に関して課題の共有と検討をする予定であったが、検討事例としての提案はなかった。今までの活動の中で課題としてあがっていた虐待の対応について、まず自圏域の対応の現状を把握すべく市町担当窓口より現状報告を行った。その後連絡会へ伝達し、事業所が今感じる課題について検討した。

また、四日市市障害児・者地域生活支援養成講座事業を活用し、次年度取り上げる高齢化の問題について、介護保険分野との協働を模索すべく、研修会を実施した。これをきっかけに、介護保険分野と障害者の地域生活について検討する場を設定することへつなげたい。

生活支援部会：4回

準備委員会：4回

構成委員：行政、障害者支援施設、グループホーム・ケアホーム、生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、居宅介護事業所、障害当事者、相談支援事業所

連絡会：(居住系サービス事業所連絡会関連会議) 6回

(居宅介護事業所連絡会関連会議) 5回

(通所事業所連絡会関連会議) 4回

(GH連絡会関連会議) 4回

研修会：(四日市市障害者・児地域生活支援養成講座)

日時：平成27年3月28日(土) 10:00～12:30

場所：じばさん三重

公演：『障害のある方の高齢期の暮らしを考える』

講師：又村 あおい 氏

参加者：50名

(3) 特定相談支援事業

障害者福祉サービス等を申請した障害者について、サービス等の利用計画の作成及び利用計画のモニタリングを行い、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、よりきめ細かく支援をした。

●計画支援実績

	新規計画	モニタリング	更新・変更計画
平成25年度	29件	30件	37件
平成26年度	101件	262件	35件

⑨視覚障害者福祉センター

市内在住の視覚障害者を対象に、はり・きゅう・マッサージを職業としている人の技術向上を目的とした三療学術講習会を開催した。

また、情報提供のため、市の公文書などの点訳業務(217件)を行ったほか、団体活動の場を提供した。

講座名	内 容	回数(回)	利用者数(名)
職業訓練	8月21日(木) 13時～15時30分 「カイロプラクティックの理論と基礎実技」 講師：三重県立盲学校教諭 西方 繁春 氏	1	39
	11月20日(木) 13時～15時30分 『人生不老長寿をめざして』 講師：三重県鍼灸マッサージ師会会長 伊藤 由尋 氏	1	32

⑩障害者就業・生活支援センター「プラウ」

障害者雇用は依然として厳しい状況にあるが、65人が一般事業所に就職。相談者中には発達障害が疑われる人が多くなり、知的に重度ではないにもかかわらず、コミュニケーションスキルや社会性で多くの課題を抱えている人が目立ち、ますます専門的な支援が必要とされている。関係機関が連携しての障害者雇用についての啓発や事業所開拓はたいへん厳しい現状にあり実行性のあるネットワークの構築が求められる。

(ア) 相談業務の実施

●登録状況(名)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
平成25年度	92	313	253	20	678
平成26年度	92	335	292	10	729

●ツール別延べ相談回数(回)

	来所	電話 文書メール	家庭 入所施設訪問	職場訪問	他の支援 機関	合 計
25年度	2,021	5,702	157	988	1,307	10,175
26年度	2,044	5,519	147	1,003	1,705	10,418

●相談内容別延べ相談回数(回)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
就職に関する相談	408	1,379	1,985	103	3,875
職場定着に係る相談	324	3,229	1,567	21	5,141
生活に係る相談	107	626	267	17	1,017
就業と生活の両方にわたる相談	138	190	57	0	385
合 計	977	5,424	3,876	141	10,418
(平成25年度合計)	941	6,039	2,990	205	10,175

●就職した障害者の数(名)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
25年度	5	36	23	1	65
26年度	5	33	25	2	65

(イ) 関係機関との連携

a 自立支援協議会雇用部会、関係機関連携会議(6回)

参加機関 津障害者職業センター、北勢福祉事務所、障害者雇用アドバイザー、四日市公共職業安定所、一市三町障害福祉課、四日市市商業労働課、学校関係、就労移行支援事業所、精神障害者相談支援事業所、当事者団体等20機関。

内 容 各関係機関の取り組みを情報交換し、障害者の雇用について啓発活動や研修会などを実施。

- b 知的障害者就労支援講座（四日市市商業勤労課と共催）
- 日 時 平成26年7月4日（金）開講式～11日（金）
- 募集人数 知的障害者7名を募集
- 内 容 講義（マナー講座）・職場実習（市内特例子会社）
- 成 果 一般企業へ就職1名、就労継続支援（A型）事業所1名。

(ウ) 講座の開催

就労・定着支援講座（66名）

- 日 時 平成27年3月14日（土）
- 内 容 就労障害者を講師に招き、求職中の障害者やその家族に対して就職活動をする上で重要なことや働いている大人として持つべき意識について講座を開催した。

(エ) 定着支援のために

- a つどい 退社後や休日に集まり、リフレッシュを兼ねた活動や近況報告などをして交流する。
- 第1回：平成26年 6月25日(水) 第2回：平成26年 8月13日(水)
- 第3回：平成26年11月 2日(木) 第4回：平成27年 3月14日(土)
- b 就業している障害者の激励会と交流会(34名)
- 日 時 平成26年12月21日（日）
- 内 容 激励会と情報交換会を実施

⑪障害者就労支援事業ワークセンター

就労を希望する障害者を対象に、市役所等において、就労に向けた職場訓練を行い、就労に対する意識づくりを高め、次のステップへの土台作りを行った。また、市内事業所23社を関係機関とともに訪問し、障害者雇用の啓発を行った。

(ア) 職場実習の状況

●実習した障害者別の人数と日数

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
25年度	1名	3名	8名	12名
	19日	92日	239日	350日
26年度	1名	0名	11名	12名
	31日	0日	417日	448日

●職場実習後の状況

一般就労5名、就労継続支援（A型）事業所へ移行3名、就労移行支援事業所へ移行1名、委託訓練を利用2名、ワークセンター訓練中1名

⑫よっかいち福祉の店

社会福祉施設利用者や在宅高齢者などの手作り作品を、販売ボランティアの協力を得て、販売した。また、地区文化祭等行事、北伊勢上野信用金庫、その他各関係機関のご協力により、展示即売会を24回実施した。

運営委員会を開催し、運営のあり方、収支等について協議した。

- ・常設店 イオン四日市尾平店3階 開店日数（年間） 365日
- 市総合会館1階 開店日数（年間） 184日
- ・年間売上実績 8,963点 3,524,420円

⑬四日市市おもちゃ図書館

障害の有無に関わらず、子どもたちが「おもちゃ」を通じて、情操や知的・身体的機能を高め、ふれあうことや、おもちゃ図書館や移動おもちゃ図書館へ来館する親の子育て支援を目的とし、おもちゃ図書館ボランティア「よっちゃんグループ」の協力を得て運営を行った。

●おもちゃ図書館利用実績

年間利用者数など	
児童	4,274名
保護者	3,730名
利用者合計	8,004名
年間開館日数	230日
1日あたりの利用者数	35名

●団体利用実績〔12回〕

種別	施設名	回数	延べ利用者数
通園施設	あけぼの学園	12回	126名

●移動おもちゃ図書館〔8回〕

実施日	種別	利用者数
5月21日(水)	あがた保育園子育て支援	29名
9月11日(水)	三重地区子育て支援	93名
10月9日(木)	神前地区子育て支援	61名
11月26日(水)	下野中央保育園子育て支援	36名
12月24日(水)	橋北子育て支援センター ぽっぽ	47名
1月14日(水)	八郷西保育園子育て支援	60名
2月25日(水)	海蔵保育園子育て支援	31名
3月18日(水)	笹川保育園子育て支援	55名
合計		412名

●おもちゃ図書館まつり

実施日 平成26年8月21日(木)
 場所 四日市市文化会館 第4ホール
 参加数 239名(乳幼児131名、大人108名)
 内容 魚つり・ボーリング・まとあてなど体を使って遊ぶコーナー、乳幼児向けのおもちゃコーナー、手づくり布絵本コーナーなどの各種コーナーの設置と、ボランティアによる手づくり人形劇『おむすびころりん』の開催。

⑭母子福祉センター(指定管理施設)

母子家庭及び寡婦の経済的・精神的負担を軽減し、生活の安定と自立を促進するため、各種相談や技能習得講座を実施した。また、趣味を通じての生きがいやふれあいづくりを目的としてサークルを支援した。

・相談件数 340件(平成25年度は275件)

【技能習得講座・サークル実施状況】

講座・サークル名	回数	延人数
技能習得講座		
・パソコン	6回	45名
サークル		
・書道	23回	237名
・手芸	22回	115名
・ちぎり絵	12回	81名
・編み物	24回	177名
・和裁	35回	71名
・リフォーム	24回	111名
合計	146回	837名

5. その他の事業

(1) 福祉サービス相談窓口の開設

市社協が提供する福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者の権利を擁護し、利用者が福祉サービスを快適に利用することができるよう支援するため、福祉サービス相談窓口を開設した。

・相談受付状況

種別	NO	所属名	分類	申出内容	対応及び結果
要求	①	プラウ	個人情報保護	自分の個人情報ほかの登録者に漏れていた。今後ないように指導してほしい。	申出人に謝罪し了解を得ると共に、ミーティングで個人情報保護について周知徹底した。
要求	②		職員の言動	担当職員からの言葉に対して不満がある。	担当職員は、申出人の体調面を考慮して事業所見学の延期を勧めたことに対する不満であった。真意が伝わらなかったことを謝罪し、了解を得た。
要求	③ ④ ⑤ ⑥	介護保険認定調査室	職員の言動	調査時の、調査員の言葉が軽率で、不満である。指導して欲しい。	申出人に謝罪し了解を得た。調査員は激励や、元気付けの意味で発した言葉であったが、相手の立場に立った対応と言葉がけを心がけるよう全員に指導した。
要求	⑦	ゆりかもめ	職員の言動	施設の禁止事項である食物のやりとりについて許可の申出をしたところ、職員から厳しい言葉が返ってきて憤慨している。職員を辞めさせてほしい。	申出人及び家族に謝罪し了解を得ると共に、ミーティングで禁止事項を伝える際にも、言葉がけには細心の注意を払うよう徹底した。
要求	⑧	たんぼぼ	利用者送迎バスの送迎マナー	たんぼぼ送迎バスが横断歩道上で停車することがあった。通行の妨げになるので改めて欲しい。	会議の場で再度、道路交通法を守り安全運転に心がけるよう周知、徹底を行った。
要求	⑨	かがやき	個人情報保護	ケース会議資料の中に、他の個人情報載っている資料があったが回収されることなく会議が閉会した。再発防止に努めてほしい。	責任者から謝罪を行い、使用した資料の回収を行った。全て資料を回収した後、改めて担当職員より謝罪をし、了解を得た。資料の取り扱いについて全職員に周知、徹底をした。
請求及び責任追及は0件					
結果		解決 9件			
		継続 0件			

(2) 職員の安全衛生

①第1回衛生委員会

実施日・場所 平成26年7月4日(金)

市総合会館 7階第2研修室

内容：平成26年度衛生委員会の実施計画案について

職員の健康状態について(中嶋産業医)

第87回「全国安全週間」にともなう当法人の取組について

②第2回衛生委員会

実施日・場所 平成26年9月5日(金) 市総合会館 7階第2研修室

内容:「産業医」による職場巡視を当日実施

⇒ 居宅介護支援事業所、訪問介護事業所

「全国労働衛生週間」の実施に合わせ、本会も10月1日～7日「ゼロ災活動」を実施し、全職域にワッペンを配布

産業医講話「職場のメンタルヘルスについて」

③第3回衛生委員会

実施日・場所 産業医に報告後決裁文書回覧にて衛生委員会に替える

⇒ 12月11日(木) 全委員合議決裁済み

あさけワークス、視覚障害者福祉センターを視察

内容:安全衛生委員による「職場巡視チェックリスト」の総括及び集計報告書を回覧

巡視2施設へ「職場巡視結果報告書」を送付し労働環境の改善を促した。

⇒対象2施設へ「職場巡視対応届」の提出を依頼

④第4回衛生委員会

実施日・場所 平成27年3月13日(金) 市総合会館 7階第2研修室

内容:平成26年度「職員健康診断結果」を基に産業医の講評

平成27年度本会の「年間安全衛生管理計画」

⇒「安全衛生に関する基本方針」及び「年間安全衛生目標・スローガン」の決定

その他

『安全衛生推進者養成講習会』…2名講習会参加後、安全衛生推進者として登録(訪問介護事業所 たんぽぽ各1名)

(3) 第1次事業継続計画(BCP)の策定

大規模災害が発生した際、事業の優先順位を事前に取り決め、重要事業を途切れなく継続することと、万一事業活動が中断した場合でも、目標復旧時間内に重要な機能を再開させ、事業中断に伴うリスクを最低限にするため、平成27年1月に第1次事業継続計画(BCP)を策定した。

その中で、大規模災害時における職員動員体制、各所属の行動マニュアル、災害ボランティアセンターマニュアル等を定めた。

(4) 職員研修の実施

職員の資質向上のため、全社協、県社協等が主催する派遣研修に141回、延べ214人を派遣した。また、本会主催研修として、新規採用職員研修、各職場研修、人権研修など27回、延べ341人が受講した。

(5) 資金貸付事業の実施

生活福祉資金は、26年度は、総合支援資金は減少したが、教育支援資金や技能習得費等の申請は増加した。

①生活福祉資金貸付事業の実施

三重県社会福祉協議会が行う資金貸付事業で、低所得者、障害者、高齢者を対象に貸付の相談、申請、返済などの窓口を担当した。

※は貸付期間が複数年になるもの

資金の種類	貸付件数	貸付金額
※教育支援費・就学支度費	8件	6,531,000円
自動車購入費(障害者)	4件	5,367,000円
転宅費	2件	670,000円
療養費	1件	762,000円

技能習得費	4件	1,309,000円
福祉費(エアコン購入)	2件	261,000円
※不動産担保型生活資金	1件	5,278,000円
総合支援資金(生活支援費)	5件	1,866,000円
総合支援資金(住宅入居費)	1件	147,086円
総合支援資金(一時生活再建費)	1件	228,528円
緊急小口資金	64件	5,800,000円
臨時特例つなぎ資金	13件	1,130,000円
計	106件	29,349,614円

②資金貸付事業の実施

福祉金庫(A)は生活保護受給者、(B)はその他の低所得者を対象に市保護課と、国民健康保険高額療養費は、市保険年金課と、介護保険資金は市介護・高齢福祉課と連携して貸付業務を行った。

資金の種類	貸付件数	貸付金額
福祉金庫(A)	160件	2,039,000円
福祉金庫(B)	312件	8,690,000円
国民健康保険高額療養費	10件	1,448,000円
介護保険資金	2件	34,322円
計	484件	12,211,322円

(6) 実習生等の受け入れ

将来の福祉を担う人材育成を目的に、福祉専門職(社会福祉士・介護福祉士)や、看護師、または、小学校・中学校福祉体験、四日市市新規採用職員研修等を受け入れ、本会が持つ機能、役割などについて学ぶ機会を提供した。

種別	人数
社会福祉士	4
介護福祉士	5
看護師	8
教員免許	13
インターンシップ	1
市新採職員	29
小・中職場体験	20
言語聴覚学専攻学生	1
合計	81

(7) 財政基盤の安定化

①社会福祉協議会会員会費

会費の種類	会員数	会費
普通会員	1,154人	855,000円
団体会員	353団体	3,370,590円
計	—	4,225,590円

②善意の基金

香典の一部または全部、チャリティ募金等を社会福祉のために、という趣旨の寄付で、基金の運用益等を地域福祉事業の財源としている。

	積立額	基金(年度末現在)
平成26年度	2,409,497円	180,590,116円

③収益事業

a 「喫茶ふれあい」の経営

営業日数	247日
年間総収入	10,052,337円
1日平均利用数	約51名
1日平均売上額	40,697円
収益金(一般会計繰入)	0円

b 「総合会館売店」の受託運営

営業日数	254日
年間総収入	30,328,240円
1日平均利用数	約254名
1日平均売上額	119,402円
収益金(一般会計繰入)	680,000円

④共同募金運動(三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業)の推進

今年度は10月1日の街頭募金は、三重県知事も参加され、三重県共同募金と共に募金運動を行った。

種別	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
一般募金	42,709,800	39,598,580	92.71
歳末たすけあい募金	1,300,000	1,003,356	77.18
合計	44,009,800	40,601,936	

⑤寄付金等

a 現金

趣旨など	寄付額
香典の全部または一部、チャリティバザー等	2,409,497円
上記以外の寄付 (企業から施設への指定寄付、NHK歳末募金等)	223,400円
合計	2,632,897円

b 物品寄贈

缶つぶし機、コミック誌、自走式車いす、プロレス観戦チケット など

⑥資産運用

自主財源の確保を目的に、本会資産運用規程に基づき、長期国債を中心とした資産運用を行い、今年度は、政府保証債の売却等により利息配当金と合わせ7,143,497円の利益があった。